

科目区分

生活している人間の理解

看護職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得

保 保健師課程のみ 必修科目

看護の対象としての人間の理解

看護学実習

アドミッション・ポリシー

1年次

2年次

3年次

4年次

ディプロマ・ポリシー

看護学科

保健医療学部

生命の尊重・相手の立場に立って考える

思考を言語化する力・考察する能力(論理的思考)

医療・健康問題への積極的関心(看護職への強い志望、学び続ける努力)

他者に耳を傾ける・協調性

哲学  
文学  
法学  
心理学  
発達心理学  
社会学  
教育学  
人体の科学  
人間工学  
スポーツ科学  
情報リテラシー  
英語Ⅰ・Ⅱ  
ドイツ語

看護関係法規  
人体の構造と機能  
病原微生物 薬理学  
環境論  
公衆衛生学 免疫学  
食物・栄養学  
生活と健康

看護方法演習Ⅰ  
看護学概論Ⅰ  
看護技術論  
基礎看護技術Ⅰ  
基礎看護技術Ⅱ  
基礎看護技術Ⅲ

看護におけるコミュニケーション論

英語Ⅲ  
日本国憲法 文化人類学  
カウンセリング論  
ジェンダー学 体育実技

病むことの心理 看護倫理

基礎看護学実習Ⅱ 老年看護学実習Ⅰ

基礎看護学実習Ⅰ  
基礎看護技術Ⅳ  
基礎看護技術Ⅴ  
看護方法演習Ⅱ

看護におけるコミュニケーション論

英語Ⅲ  
日本国憲法 文化人類学  
カウンセリング論  
ジェンダー学 体育実技

病むことの心理 看護倫理

基礎看護学実習Ⅱ 老年看護学実習Ⅰ

基礎看護学実習Ⅰ  
基礎看護技術Ⅳ  
基礎看護技術Ⅴ  
看護方法演習Ⅱ

看護におけるコミュニケーション論

英語Ⅲ  
日本国憲法 文化人類学  
カウンセリング論  
ジェンダー学 体育実技

病むことの心理 看護倫理

基礎看護学実習Ⅱ 老年看護学実習Ⅰ

基礎看護学実習Ⅰ  
基礎看護技術Ⅳ  
基礎看護技術Ⅴ  
看護方法演習Ⅱ

看護におけるコミュニケーション論

英語Ⅲ  
日本国憲法 文化人類学  
カウンセリング論  
ジェンダー学 体育実技

病むことの心理 看護倫理

基礎看護学実習Ⅱ 老年看護学実習Ⅰ

基礎看護学実習Ⅰ  
基礎看護技術Ⅳ  
基礎看護技術Ⅴ  
看護方法演習Ⅱ

看護におけるコミュニケーション論

① 幅広い教養と生命の尊重を基盤とした豊かな人間性を身につける。  
② 医療における看護の倫理的側面を理解し行動できる。  
③ 全人的医療、患者さん中心の医療を原点に、病める人の視点で考え、人を思いやる態度をもち、個性を重視した看護を行うことができる。

④ 医療人に必要とされる基礎医学および臨床医学の基本的知識を身につける。  
⑤ 多様な保健・医療・福祉の場で活用できる基本的な看護の知識と技術を身につける。  
⑥ 看護の専門的知識を活用し、科学的根拠に基づいて、身体的、心理的、社会的側面から適切な判断を行うことができる。  
⑦ 看護の実践の中から看護研究の課題を発見し、それを発展させることができる。

⑧ 常に自らの能力を点検・評価し、生涯学びつづける姿勢を身につける。

⑨ チーム医療の中で調整・連携の役割を果たすための適切なコミュニケーション能力を身につける。

⑩ 医療安全管理の重要性を理解し、状況に応じた適切な行動をとることができる。

⑪ 保健・医療・福祉チームの一員として地域医療に積極的に関わることができる。

① 人間の生命に対する深い愛情と畏敬の念を基盤として、高い倫理観と豊かな人間性を涵養すること。

② 保健医療に関する国際水準の知識と技術の修得を基本とし、未知の課題を自ら解決する意欲と探求心をもつとともに、自らの能力の限界を知り、生涯にわたり自己の資質の向上に努めること。

③ 協調性に富んだ社会人として様々な職種の人々と協力し、医療の安全につなぐに留意するとともに、社会的視点に立って地域の保健医療に積極的に関わることができること。

看護学生のためのリテラシー

基礎看護学実習Ⅰ

医療の基本Ⅰ

基礎看護学実習Ⅱ 老年看護学実習Ⅰ

看護過程論  
フィジカルアセスメント

看護管理学

医療の基本Ⅱ

在宅看護学活動論Ⅰ

在宅看護学活動論Ⅱ

在宅看護学活動論Ⅲ

公衆衛生看護学活動展開論Ⅰ・Ⅱ

公衆衛生看護学活動展開論Ⅲ

地域診断論Ⅰ・Ⅱ

公衆衛生看護管理論

実践応用の看護学実習

看護学概論Ⅱ

救急看護論  
国際看護論

パリアティブケア論

看護総合セミナー

看護研究セミナー

看護政策論 医療経済学

公衆衛生看護学実習

産学校看護論  
産業看護論

領域別看護学実習(成人・老年・小児・母性・精神・在宅)

保健統計学  
母子看護方法論  
臨床看護学概論(成人・老年・精神・小児・母性)  
活動論(方法論)

看護研究概論

保 疫学  
保 社会福祉論  
保 医療情報学  
保 放射線医学概論  
保 疾病の成り立ち  
保 保健医療行政論Ⅱ  
保 保健医療行政論Ⅰ

基礎看護技術Ⅳ  
基礎看護技術Ⅴ  
看護方法演習Ⅱ

感染看護学

公衆衛生看護学概論

在宅看護学概論

リハビリテーション看護論

在宅看護学活動論Ⅰ

在宅看護学活動論Ⅱ

在宅看護学活動論Ⅲ

公衆衛生看護学活動展開論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

公衆衛生看護学活動展開論Ⅳ

公衆衛生看護学活動展開論Ⅴ

公衆衛生看護学活動展開論Ⅵ

公衆衛生看護学活動展開論Ⅶ

公衆衛生看護学活動展開論Ⅷ

## 【令和7年度 看護学科3年次 時間割表】

\* : 選択科目

<前期>

● : [看護師]選択科目、[保健師]必修科目

時限	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1 9:00 ~ 10:30	保健統計学 (長島)	成人看護学方法論Ⅱ (青木)		老年看護学活動論 (丸井)	精神看護学活動論 (大澤)	医療の基本Ⅱ (辻) <small>看3・検3・工3・理3合同</small>
		成人看護学方法論Ⅳ (本谷)				
2 10:40 ~ 12:10	看護研究概論 (千田)	成人看護学方法論Ⅱ (青木)	母子看護学方法論 (大森)			
		成人看護学方法論Ⅳ (本谷)				
3 13:10 ~ 14:40	公衆衛生看護学対象別活動論Ⅰ● (櫻井)	公衆衛生看護学対象別活動論Ⅱ● (山路)	健康教育論Ⅱ● (山路)	公衆衛生看護学対象別活動論Ⅲ● (山路)	在宅看護学活動論Ⅱ (西岡)	
			公衆衛生看護学活動展開論Ⅱ● (櫻井)			
4 14:50 ~ 16:20	成人看護学方法論Ⅲ (櫻庭)	健康教育論Ⅰ● (山路)	健康教育論Ⅱ● (山路)	医療の基本Ⅱ (辻)		
		公衆衛生看護学活動展開論Ⅰ● (菊池)	公衆衛生看護学活動展開論Ⅱ● (櫻井)			
5 16:30 ~ 18:00						

<後期>

時限	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1 9:00 ~ 10:30	成人看護学実習Ⅰ(本谷) 成人看護学実習Ⅱ(本谷) 老年看護学実習Ⅱ(丸井) 小児看護学実習(川合) 母性看護学実習(大森) 精神看護学実習(大賀)					
2 10:40 ~ 12:10						
3 13:10 ~ 14:40						
4 14:50 ~ 16:20						
5 16:30 ~ 18:00						

※日程の詳細は、シラバスにて確認すること。

## 目 次

### 科目名(科目責任者)

#### <看護の対象としての人間の理解>

##### —医療と人間—

医療の基本Ⅱ(辻 美隆) .....	9
--------------------	---

##### —健康現象の疫学と統計—

保健統計学(長島 浩) .....	15
-------------------	----

#### <看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得>

##### —看護専門分野—

成人看護学方法論Ⅱ(急性期の看護)(青木 君恵) .....	19
--------------------------------	----

成人看護学方法論Ⅲ(がん看護)(櫻庭 奈美) .....	23
------------------------------	----

成人看護学方法論Ⅳ(成人看護技術)(本谷 久美子) .....	27
---------------------------------	----

老年看護学活動論(丸井 明美) .....	31
-----------------------	----

母子看護学方法論(大森 智美) .....	36
-----------------------	----

精神看護学活動論(大澤 優子) .....	40
-----------------------	----

在宅看護学活動論Ⅱ(西岡 ひとみ) .....	45
-------------------------	----

##### —ケアの質向上のための看護学—

看護研究概論(千田 みゆき) .....	51
----------------------	----

公衆衛生看護学対象別活動論Ⅰ(櫻井 繭子) .....	55
-----------------------------	----

公衆衛生看護学対象別活動論Ⅱ(山路 真佐子) .....	59
------------------------------	----

公衆衛生看護学対象別活動論Ⅲ(山路 真佐子) .....	63
------------------------------	----

公衆衛生看護学活動展開論Ⅰ(菊池 チトセ) .....	67
-----------------------------	----

公衆衛生看護学活動展開論Ⅱ(櫻井 繭子) .....	70
----------------------------	----

健康教育論Ⅰ(山路 真佐子) .....	74
----------------------	----

健康教育論Ⅱ(山路 真佐子) .....	77
----------------------	----

##### —臨地実習—

成人看護学実習Ⅰ(本谷 久美子) .....	81
------------------------	----

成人看護学実習Ⅱ(本谷 久美子) .....	83
------------------------	----

老年看護学実習Ⅱ(丸井 明美) .....	85
-----------------------	----

小児看護学実習(川合 美奈) .....	87
----------------------	----

母性看護学実習(大森 智美) .....	88
----------------------	----

精神看護学実習(大賀 淳子) .....	90
----------------------	----



講義名	医療の基本Ⅱ		
(副題)	看護の対象としての人間の理解（医療と人間）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	1	時間	30.00
代表曜日	木曜日	代表時限	4限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	3年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
医師	◎ 辻 美隆	共通教育部門教員

担当教員	辻 美隆・嶋崎 晴雄・大野美佐子・是村 利幸・茅野 秀一・田邊 一郎・池田 将樹・酒井 純・清水 夏生・甘利 貴志・三輪 泰之・梅澤 奈菜・森 茂久・石橋敬一郎・柴崎 智美・金田 光平
科目の目標	将来、医療人として患者さんの安全を守り、安心され信頼される医療を提供するために、チーム医療と医療安全管理に関する関心を高め、医療事故が発生した際の適切な対応および医療事故の防止と再発予防に必要な事項を理解する。
学習の具体的な目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 医療安全管理に関する基本的な事項を説明できる。</li> <li>2) 医療事故、医療過誤、医療紛争に関する基本的な事項を概説できる。</li> <li>3) 医療事故および医療紛争の発生要因やその予防に関して、自分の考えを述べることができる。</li> <li>4) 医療の現場におけるヒヤリ・ハット報告の意味を述べるができる。</li> <li>5) 根本原因分析（RCA）の手法を用いて、ヒヤリ・ハット事例を検討できる。</li> <li>6) 医療安全管理におけるチーム医療の役割を説明できる。</li> <li>7) 多職種協働のチームアプローチにより課題を発見し、解決に取り組むことができる。</li> </ol> <p>各主題について、グループワークののちプレゼンテーションを行いお互いに評価する。</p>

授業計画表				
Aグループ				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月17日(木)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	辻・嶋崎・大野・是村		
	テーマ	医療安全概説		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療の質の向上と医療安全管理について説明する。</li> <li>2. 医療の安全を阻む要因について説明する。</li> <li>3. 安全な医療を提供するための要点を説明する。</li> <li>4. 医療事故と医療過誤、医療紛争の違いを述べ、その現状を説明する。</li> </ol> （予習時間30分、復習時間30分）		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月17日(木)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	辻・嶋崎・大野・是村		

テーマ	ヒヤリ・ハット事例の検討1：説明とBuzz Session 1			
授業内容	1. 実際のヒヤリ・ハット事例について、資料を配布して医学的内容を説明する。 2. 教室内で4-5人程度の小グループに分かれ、与えられた事例について、何故そのような問題が生じたのか、数分間討議し、結論を発表する。 (予習時間30分、復習時間30分)			
3	年月日(曜日)	令和 7年05月15日(木)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	辻・嶋崎・大野・是村		
	テーマ	ヒヤリ・ハット事例の検討2：説明とBuzz Session 2		
	授業内容	1. 新たなヒヤリ・ハット事例について、資料を配布して医学的内容を説明する。 2. 教室内で4-5人程度の小グループに分かれ、与えられた事例について、何故そのような問題が生じたのか、数分間討議し、結論を発表する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年05月15日(木)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	辻・嶋崎・大野・是村		
	テーマ	ヒヤリ・ハット事例の分析方法 (RCA) 解説		
	授業内容	1. 根本原因分析 (RCA) の具体的な方法について説明する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年05月24日(土)	時限	1限
	講義室	毛呂山キャンパス・カタロスタワー		
	担当者	辻・嶋崎・大野・是村・茅野・田邊・池田・酒井・梅澤・清水・甘利・森・石橋・柴崎・金田		
	テーマ	ヒヤリ・ハット事例の検討3：分析と検討・資料作成		
	授業内容	1. 医学部・保健医療学部4学科の学生混合の30グループに分け、それぞれの事例を担当させる。 2. 学生はセミナールーム等に分かれ、RCAの手法にのっとり、なぜ、そのような事例が生じたのか、どうすれば防げたのか、について各種の観点から討議する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年05月24日(土)	時限	2限
	講義室	毛呂山キャンパス・カタロスタワー		
	担当者	辻・嶋崎・大野・是村・茅野・田邊・池田・酒井・梅澤・清水・甘利・森・石橋・柴崎・金田		
	テーマ	ヒヤリ・ハット事例の検討4：発表		
	授業内容	1. 全体を5グループに分け、それぞれ1つ10分の持ち時間で発表する。 2. 全体討論を通じてこれらの問題に対する理解を深める。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年05月31日(土)	時限	3限
	講義室	毛呂山キャンパス・カタロスタワー		
	担当者	辻・嶋崎・大野・是村・茅野・田邊・池田・酒井・三輪・梅澤・清水・甘利・森・石橋・柴崎・金田		
	テーマ	対応困難事例の検討1：分析と検討・資料作成		
	授業内容	1. 医学部・保健医療学部4学科の学生混合の30グループに分け、それぞれの事例を担当させる。 2. 学生はセミナールーム等に分かれ、RCAの手法にのっとり、なぜ、そのような事例が生じたのか、どうすれば防げたのか、について各種の観点から討議する。 3. 発表用資料を作成し、提出する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年05月31日(土)	時限	4限
	講義室	毛呂山キャンパス・カタロスタワー		
	担当者	辻・嶋崎・大野・是村・茅野・田邊・池田・酒井・三輪・梅澤・清水・甘利・森・石橋・柴崎・金田		
	テーマ	対応困難事例の検討2：発表		
	授業内容	1. 全体を5グループに分け、それぞれ1つ10分の持ち時間で発表する。 2. 全体討論を通じてこれらの問題に対する理解を深める。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年06月05日(木)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	辻・嶋崎・大野・是村		
	テーマ	危険予知トレーニング (KYT) 1：説明と検討		

授業内容	1. 危険予知トレーニング (KYT) の意義・具体的な方法について説明する。 2. 検討する事例について説明する。 3. 教室内で小グループに分かれ、KYTの手法で事例について討議する。 (予習時間30分、復習時間30分)			
10	年月日(曜日)	令和 7年06月05日(木)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	辻・嶋崎・大野・是村		
	テーマ	危険予知トレーニング (KYT) 2: 説明と検討		
	授業内容	1. 小グループでKYTの手法で事例について討議を進める。 2. 事例について各グループで発表する。 3. 全体討論を通じてKYTについて理解を深める。 (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年06月12日(木)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	辻・嶋崎・大野・是村		
	テーマ	埼玉医大における医療安全管理体制 医療紛争事例の検討1: 説明		
	授業内容	1. 埼玉医大における医療安全管理体制について、具体的な組織とその役割を概説する。 2. 緊急事態が生じた際の個人としての具体的な行動について、埼玉医大の医療安全対策マニュアルにそって概説する。 3. 医事紛争事例について、資料を配布して医学的内容を説明する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年06月19日(木)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	辻・嶋崎・大野・是村		
	テーマ	医療紛争事例の検討1: 分析と検討		
	授業内容	1. 学生を16グループに分ける。 2. 医療紛争事例について、グループごとに事例検討を行う。なぜ、そのような事例が生じたのか、どうすれば防げたのか、について各種の観点から討議する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年06月19日(木)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	辻・嶋崎・大野・是村		
	テーマ	医療紛争事例の検討2: 発表		
	授業内容	1. 事例について、グループごとに発表し、全体討論を通じてこれらの問題に対する理解を深める。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年07月12日(土)	時限	1限
	講義室	講堂2F・C401		
	担当者	辻・嶋崎・大野・是村・茅野・田邊・池田・酒井・梅澤・清水・甘利		
	テーマ	チーム医療の問題点と解決策1: 検討		
	授業内容	1. 4学科の学生混合の12グループに分ける。 2. チーム医療の現状と問題点についてグループごとに討議する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 7年07月12日(土)	時限	2限
	講義室	講堂2F・C401		
	担当者	辻・嶋崎・大野・是村・茅野・田邊・池田・酒井・梅澤・清水・甘利		
	テーマ	チーム医療の問題点と解決策1: 発表		
	授業内容	1. 討議内容を要約し発表する。 2. 全体討論を通じてチーム医療に対する理解を深める。 3. チーム医療と質の高い医療、医療安全とのかかわりについて説明する。 (予習時間30分、復習時間30分)		

Bグループ

1	年月日(曜日)	令和 7年04月17日(木)	時限	3限
	講義室	C402		

担当者	辻・嶋崎・大野・是村			
テーマ	医療安全概説			
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療の質の向上と医療安全管理について説明する。</li> <li>2. 医療の安全を阻む要因について説明する。</li> <li>3. 安全な医療を提供するための要点を説明する。</li> <li>4. 医療事故と医療過誤、医療紛争の違いを述べ、その現状を説明する。 (予習時間30分、復習時間30分)</li> </ol>			
2	年月日(曜日)	令和 7年04月17日(木)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	辻・嶋崎・大野・是村		
	テーマ	ヒヤリ・ハット事例の検討1:説明とBuzz Session 1		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 実際のヒヤリ・ハット事例について、資料を配布して医学的内容を説明する。</li> <li>2. 教室内で4-5人程度の小グループに分かれ、与えられた事例について、何故そのような問題が生じたのか、数分間討議し、結論を発表する。 (予習時間30分、復習時間30分)</li> </ol>		
3	年月日(曜日)	令和 7年05月15日(木)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	辻・嶋崎・大野・是村		
	テーマ	ヒヤリ・ハット事例の検討2:説明とBuzz Session 2		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 新たなヒヤリ・ハット事例について、資料を配布して医学的内容を説明する。</li> <li>2. 教室内で4-5人程度の小グループに分かれ、与えられた事例について、何故そのような問題が生じたのか、数分間討議し、結論を発表する。 (予習時間30分、復習時間30分)</li> </ol>		
4	年月日(曜日)	令和 7年05月15日(木)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	辻・嶋崎・大野・是村		
	テーマ	ヒヤリ・ハット事例の分析方法(RCA)解説		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 根本原因分析(RCA)の具体的な方法について説明する。 (予習時間30分、復習時間30分)</li> </ol>		
5	年月日(曜日)	令和 7年05月24日(土)	時限	3限
	講義室	毛呂山キャンパス・カタロスタワー		
	担当者	辻・嶋崎・大野・是村・茅野・田邊・池田・酒井・梅澤・清水・甘利・森・石橋・柴崎・金田		
	テーマ	ヒヤリ・ハット事例の検討3:分析と検討・資料作成		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医学部・保健医療学部4学科の学生混合の30グループに分け、それぞれの事例を担当させる。</li> <li>2. 学生はセミナールーム等に分かれ、RCAの手法にのっとり、なぜ、そのような事例が生じたか、どうすれば防げたのか、について各種の観点から討議する。 (予習時間30分、復習時間30分)</li> </ol>		
6	年月日(曜日)	令和 7年05月24日(土)	時限	4限
	講義室	毛呂山キャンパス・カタロスタワー		
	担当者	辻・嶋崎・大野・是村・茅野・田邊・池田・酒井・梅澤・清水・甘利・森・石橋・柴崎・金田		
	テーマ	ヒヤリ・ハット事例の検討4:発表		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 全体を5グループに分け、それぞれ1つ10分の持ち時間で発表する。</li> <li>2. 全体討論を通じてこれらの問題に対する理解を深める。 (予習時間30分、復習時間30分)</li> </ol>		
7	年月日(曜日)	令和 7年05月31日(土)	時限	1限
	講義室	毛呂山キャンパス・カタロスタワー		
	担当者	辻・嶋崎・大野・是村・茅野・田邊・池田・酒井・三輪・梅澤・清水・甘利・森・石橋・柴崎・金田		
	テーマ	対応困難事例の検討1:分析と検討・資料作成		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医学部・保健医療学部4学科の学生混合の30グループに分け、それぞれの事例を担当させる。</li> <li>2. 学生はセミナールーム等に分かれ、RCAの手法にのっとり、なぜ、そのような事例が生じたか、どうすれば防げたのか、について各種の観点から討議する。</li> <li>3. 発表用資料を作成し、提出する。 (予習時間30分、復習時間30分)</li> </ol>		

8	年月日(曜日)	令和 7年05月31日(土)	時限	2限
	講義室	毛呂山キャンパス・カタロスタワー		
	担当者	辻・嶋崎・大野・是村・茅野・田邊・池田・酒井・三輪・梅澤・清水・甘利・森・石橋・柴崎・金田		
	テーマ	対応困難事例の検討2：発表		
	授業内容	1. 全体を5グループに分け、それぞれ1つ10分の持ち時間で発表する。 2. 全体討論を通じてこれらの問題に対する理解を深める。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年06月05日(木)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	辻・嶋崎・大野・是村		
	テーマ	危険予知トレーニング (KYT)1：説明と検討		
	授業内容	1. 危険予知トレーニング (KYT) の意義・具体的な方法について説明する。 2. 検討する事例について説明する。 3. 教室内で小グループに分かれ、KYTの手法で事例について討議する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年06月05日(木)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	辻・嶋崎・大野・是村		
	テーマ	危険予知トレーニング (KYT)2：説明と検討		
	授業内容	1. 小グループでKYTの手法で事例について討議を進める。 2. 事例について各グループで発表する。 3. 全体討論を通じてKYTについて理解を深める。 (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年06月12日(木)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	辻・嶋崎・大野・是村		
	テーマ	埼玉医大における医療安全管理体制医療紛争事例の検討1：説明		
	授業内容	1. 埼玉医大における医療安全管理体制について、具体的な組織とその役割を概説する。 2. 緊急事態が生じた際の個人としての具体的な行動について、埼玉医大の医療安全対策マニュアルにそって概説する。 3. 医事紛争事例について、資料を配布して医学的内容を説明する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年06月19日(木)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	辻・嶋崎・大野・是村		
	テーマ	医療紛争事例の検討1：分析と検討		
	授業内容	1. 学生を16グループに分ける。 2. 医療紛争事例について、グループごとに事例検討を行う。なぜ、そのような事例が生じたのか、どうすれば防げたのか、について各種の観点から討議する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年06月19日(木)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	辻・嶋崎・大野・是村		
	テーマ	医療紛争事例の検討2：発表		
	授業内容	1. 事例について、グループごとに発表し、全体討論を通じてこれらの問題に対する理解を深める。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年07月12日(土)	時限	3限
	講義室	講堂2F・C401		
	担当者	辻・嶋崎・大野・是村・茅野・田邊・池田・酒井・梅澤・清水・甘利		
	テーマ	チーム医療の問題点と解決策1：検討		
	授業内容	1. 4学科の学生混合の16グループに分ける。 2. チーム医療の現状と問題点についてグループごとに討議する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 7年07月12日(土)	時限	4限

講義室	講堂2F・C401
担当者	辻・嶋崎・大野・是村・茅野・田邊・池田・酒井・梅澤・清水・甘利
テーマ	チーム医療の問題点と解決策1：発表
授業内容	1. 討議内容を要約し発表する。 2. 全体討論を通じてチーム医療に対する理解を深める。 3. チーム医療と質の高い医療、医療安全とのかかわりについて説明する。 (予習時間30分、復習時間30分)
評価方法	出席状況、受講態度、プロダクトの作成・発表状況などをもって、総合的に評価する。作成したプロダクトおよび発表については、学生による同僚評価も実施し、評価の集計をフィードバックする。なお、授業回数の4/5以上に出席しなければ不合格となる。(遅刻は0.5回相当) 再試験：なし
教科書	プリント教材を適宜配布する。
参考書	なし
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【辻 美隆】 月曜・水曜・木曜の12：15～13：00、 木曜・金曜の17：00～18：00 上記時間帯に訪問することが難しい場合は、事前にメール等でアポイントメントを取ること。 メールアドレス：ytsuji@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	授業前日にはシラバスの該当部分を確認し、記載されたテーマについて図書館やインターネットで予習、また授業後には自ら調べた資料の整理・分析、発表用資料の構成検討、発表の練習などを怠らないこと。

講義名	保健統計学		
(副題)	看護の対象としての人間の理解（健康現象の疫学と統計）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	1	時間	30.00
代表曜日	月曜日	代表時限	1限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	3年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ 長島 浩	非常勤教員（大学外部）

担当教員	長島 浩
科目の目標	<p>記述統計では頻りに扱う実際の医学データや臨床で見られる現象を取り挙げ、それらのデータの適切な処理方法を、推測統計では仮説検定を用いて実データから結果を推論できる方法を習得する。</p> <p>なお、本科目の一部は、全学共通データサイエンスAI学修プログラムになっている。全学共通データサイエンスAI学修プログラムは、データサイエンス・AI・数理への関心を高め、かつ、それを適切に理解し活用する基礎的な能力を育成することを目的としている。</p>
学習の具体的な目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 数値データの統計処理と代表値を列挙できる。</li> <li>2) 統計処理と仮説検定にもとづき実験等の結果を説明できる。</li> <li>3) パソコンを用いて、統計処理や検定を行い説明できる。</li> <li>4) 検査データ・計測結果などから、全体を推測し説明できる。</li> <li>5) 看護研究における実際の各種データの統計処理方法を説明できる。</li> <li>6) 医療におけるデータサイエンス・AIの必要性を説明できる。</li> <li>7) AI等を扱う際に、人間中心の適切な判断を行うための倫理等について説明できる。</li> <li>8) 保健統計に用いられている統計方法を列挙できる。</li> <li>9) 疫学の方法論と計算手順について説明できる。</li> </ol>

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月14日(月)	時限	1限
	講義室	C402		
	担当者	長島		
	テーマ	保健統計学概説		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 統計学が保健医療の領域にどのように利用されているか説明できる。</li> <li>2. 記述統計の代表値が電卓で簡便に計算し説明できる。</li> <li>3. 統計と推論について理解し、説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月21日(月)	時限	1限
	講義室	C402		
	担当者	長島		
	テーマ	統計学の基礎 (I) : 数値データと統計処理		
	授業内容			

1. 平均値と中央値について説明できる。
  2. 度数分布について説明できる。
  3. 標準偏差及び正規分布について説明できる。
- (予習時間30分、復習時間30分)

3	年月日(曜日)	令和 7年04月28日(月)	時限	1限
	講義室	C402		
	担当者	長島		
	テーマ	統計学の基礎(Ⅱ) : 各種データの統計処理方法		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. データの収集と標本抽出方法、統計処理法について説明できる。</li> <li>2. データの種類、母集団と標本の関係について説明できる。</li> <li>3. 最適なデータ処理の方法について説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年05月12日(月)	時限	1限
	講義室	C402		
	担当者	長島		
	テーマ	相関係数と回帰式 : 実データによる統計学的表現		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 相関図について説明できる。</li> <li>2. 回帰(重回帰)式、相関係数について説明できる。</li> <li>3. 相関図と回帰直線の関係について説明できる。</li> <li>4. 相関と因果関係について説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年05月19日(月)	時限	1限
	講義室	C402		
	担当者	長島		
	テーマ	エクセルによる記述統計の処理方法 記述統計のまとめ		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 記述統計をエクセルにより数値処理と結果について説明できる。</li> <li>2. エクセルにより平均値、標準偏差、相関係数等について求めることができる。</li> <li>3. 代表値、度数分布、正規分布、相関等の記述統計について説明できる。</li> <li>4. 得られたデータと統計処理方法について説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年05月26日(月)	時限	1限
	講義室	C402		
	担当者	長島		
	テーマ	推定と検定(Ⅰ) : カイ二乗検定		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. カイ二乗検定について説明できる。</li> <li>2. 実験データ・臨床データのカイ二乗検定結果について説明できる。</li> <li>3. カイ二乗検定により結果を推論し説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年06月02日(月)	時限	1限
	講義室	C402		
	担当者	長島		
	テーマ	推定と検定(Ⅱの1) : t検定		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 母集団と標本の平均の差を、t検定で説明できる。</li> <li>2. 実験データ・臨床データのt検定結果について説明できる。</li> <li>3. t検定により結果を推論し説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年06月09日(月)	時限	1限
	講義室	C402		
	担当者	長島		
	テーマ	推定と検定(Ⅱの2) : t検定		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2つの標本平均の差をt検定で説明できる。</li> <li>2. 実験データ・臨床データのt検定結果について説明できる。</li> <li>3. t検定により結果を推論し説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年06月16日(月)	時限	1限

講義室	C402			
担当者	長島			
テーマ	推定と検定（Ⅲ）：分散分析			
授業内容	1. 分散分析について説明できる。 2. 分散分析とt検定の関係について説明できる。 3. 実験データ・臨床データの検定結果について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）			
10	年月日（曜日）	令和 7年06月23日（月）	時限	1限
	講義室	C402		
	担当者	長島		
	テーマ	推定と検定（Ⅳ）：相関係数の検定		
	授業内容	1. 相関係数の検定について説明できる。 2. 実験データ・臨床データの相関係数の信憑性について説明できる。 3. 検定により結果を推論し説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
11	年月日（曜日）	令和 7年06月30日（月）	時限	1限
	講義室	C402		
	担当者	長島		
	テーマ	信頼区間：信頼区間の定義と求め方		
	授業内容	1. 信頼区間について説明できる。 2. 実験データ・臨床データを信頼区間で説明できる。 3. 信頼区間により結果について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
12	年月日（曜日）	令和 7年07月07日（月）	時限	1限
	講義室	C402		
	担当者	長島		
	テーマ	公衆衛生学で使用される保健統計（Ⅰ）		
	授業内容	1. 疫学と統計の関係について説明できる。 2. オッズ比について説明できる。 3. オッズ比の信頼区間を求めることができ、説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
13	年月日（曜日）	令和 7年07月14日（月）	時限	1限
	講義室	C402		
	担当者	長島		
	テーマ	公衆衛生学で使用される保健統計（Ⅱ）		
	授業内容	1. 公衆衛生・疫学における保健統計の用語、寄与危険度、相対危険度等について説明できる。 2. スクリーニング検査の関連事項・用語について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
14	年月日（曜日）	令和 7年07月21日（月）	時限	1限
	講義室	C402		
	担当者	長島		
	テーマ	看護研究への記述統計と検定の活用（Ⅰ）		
	授業内容	1. 模擬データにより、検定方法の選択、仮説の設定ができる。 2. 模擬データの統計処理と検定を行い、客観的に説明し、考察できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
15	年月日（曜日）	令和 7年07月28日（月）	時限	1限
	講義室	C402		
	担当者	長島		
	テーマ	看護研究への記述統計と検定の活用（Ⅱ）		
	授業内容	1. 看護研究を想定し、保健統計の応用事例を列挙できる。 2. 看護研究に記述統計・検定を活用し説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		

評価方法

1. 前期定期試験期間に筆記試験を行う。
2. 試験範囲は全範囲；内容は記述問題中心で多肢選択問題を含め15問/90分

	3. 不合格者については、定期試験終了後に再試験を行う。
教科書	統計学（系統看護学講座 基礎分野）第7版、高木晴良著、医学書院。
参考書	1) 公衆衛生がみえる 2024/2025 メディックメディア社 2) データサイエンス入門 第2版 竹村彰通他編著、学術図書出版 3) 教養としてのデータサイエンス 北川源四郎他編、講談社
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどは、授業後に教室にて相談を受け付ける。
履修上の注意、履修要件	<p>授業前日には演習資料の該当部分を予習し、教科書で演習内容の意味を理解しておくこと。演習終了後は、学習内容の見直しを行い、必要に応じて、参考書、参考文献の確認などを行い、学習内容の理解を深めることに心掛けること（予習時間30分、復習時間30分）。レポート提出の指示があった際には、その提出期日を守ることを守ること。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 毎回、定規と電卓を持参すること。（電卓には「√キー」があること、又は関数電卓）</li> <li>2. 前半は記述統計を中心に演習を行い、後半は仮説検定と保健師国家試験出題基準の範囲を中心に演習を行う。</li> </ol>

講義名	成人看護学方法論Ⅱ		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（看護専門分野）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	1	時間	30.00
代表曜日	火曜日	代表時限	1限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	3年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
看護師/保健師	◎ 青木 君恵	看護学科教員

担当教員	青木 君恵
科目の目標	健康レベルの急激な変化が生じている患者および手術を受ける患者とその家族の身体・心理・社会的問題を把握し、それに対する解決能力を養う。また、近年の進歩的治療法および手術療法の発展、医療制度の問題を理解し、患者が社会復帰するために必要な看護について考察できる。
学習の具体的な目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 急性期または健康の危機的状態にある人とその家族の特徴について説明できる。</li> <li>2) 手術などの侵襲による生体の反応と合併症について説明できる。</li> <li>3) 周手術期のリスク予測に基づいた予防的な看護について説明できる。</li> <li>4) 術式（開腹術、開胸術、開心術、開頭術／鏡視下手術／ロボット支援下手術）による特徴的な看護について説明できる。</li> <li>5) 健康の危機的状態にある人の看護について説明できる。</li> </ol>

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月15日(火)	時限	1限
	講義室	C402		
	担当者	青木		
	テーマ	オリエンテーション 急性期看護概論		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 急性期、急性期看護の概念について説明できる。</li> <li>2. 急性期医療の現況と急性期看護の専門性について説明できる。</li> <li>3. 急性の状態にある人とその家族の特徴について説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月15日(火)	時限	2限
	講義室	C402		
	担当者	青木		
	テーマ	救急看護		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 救急患者の身体的特徴・心理的特徴について説明できる。</li> <li>2. 救急医療における倫理について説明できる。</li> <li>3. 救急患者に対する看護の概要について説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		

3	年月日(曜日)	令和 7年05月13日(火)	時限	1限
	講義室	C402		
	担当者	青木		
	テーマ	周手術期の看護(1)術前看護		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 手術にむけた意思決定支援について説明できる。</li> <li>2. 術前患者のアセスメントができる。</li> <li>3. 麻酔や手術による合併症予防のための術前身体準備について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)</li> </ol>		
4	年月日(曜日)	令和 7年05月13日(火)	時限	2限
	講義室	C402		
	担当者	青木		
	テーマ	周手術期の看護(2)術中看護		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 手術室の安全管理と環境管理について説明できる。</li> <li>2. 麻酔の種類と特徴、手術室入室から麻酔導入までの流れと看護について説明できる。</li> <li>3. 手術体位による影響と予防のための看護について説明できる。</li> <li>4. 手術室看護師の役割について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)</li> </ol>		
5	年月日(曜日)	令和 7年05月20日(火)	時限	1限
	講義室	C402		
	担当者	青木		
	テーマ	周手術期の看護(3)術後看護①		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 手術侵襲が生体に与える影響と侵襲からの回復過程について説明できる。</li> <li>2. 術後の回復を促進するための看護について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)</li> </ol>		
6	年月日(曜日)	令和 7年05月20日(火)	時限	2限
	講義室	C402		
	担当者	青木		
	テーマ	周手術期の看護(3)術後看護②		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 術後合併症の種類と出現時期および発生機序が説明できる。</li> <li>2. 術後合併症の観察と予防のための看護について説明できる。</li> <li>3. 術直後および術後1日目の観察や援助について説明できる。</li> <li>4. 術後の形態変化や機能障害に対する適応への看護について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)</li> </ol>		
7	年月日(曜日)	令和 7年05月27日(火)	時限	1限
	講義室	C402		
	担当者	青木		
	テーマ	周手術期の看護(4)開腹術(胃切除)をうける患者の看護 ※腹腔鏡下含む		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 胃切除術の術式を理解し、術式が患者に与える影響について説明できる。</li> <li>2. 胃切除術に必要となる術前・術後の特徴的な看護について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)</li> </ol>		
8	年月日(曜日)	令和 7年05月27日(火)	時限	2限
	講義室	C402		
	担当者	青木		
	テーマ	周手術期の看護(5)開腹術(大腸切除)をうける患者の看護		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 大腸切除術の術式を理解し、術式が患者に与える影響について説明できる。</li> <li>2. 大腸切除術に必要となる術前・術後の特徴的な看護について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)</li> </ol>		
9	年月日(曜日)	令和 7年06月10日(火)	時限	1限
	講義室	C402		
	担当者	青木		
	テーマ	周手術期の看護(6)開腹術(肝胆膵切除)をうける患者の看護		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 肝切除・膵切除の術式を理解し、術式が患者に与える影響について説明できる。</li> <li>2. 肝切除・膵切除に必要となる術前・術後の特徴的な看護について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)</li> </ol>		

10	年月日(曜日)	令和 7年06月10日(火)	時限	2限
	講義室	C402		
	担当者	青木		
	テーマ	周手術期の看護(7)開心術をうける患者の看護		
	授業内容	1. 開心術の術式を理解し、術式が患者に与える影響について説明できる。 2. 開心術に必要となる術前・術後の特徴的な看護について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年06月24日(火)	時限	1限
	講義室	C402		
	担当者	青木		
	テーマ	周手術期の看護(8)開胸術をうける患者の看護 ※胸腔鏡下含む		
	授業内容	1. 開胸術の術式を理解し、術式が患者に与える影響について説明できる。 2. 開胸術に必要となる術前・術後の特徴的な看護について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年07月01日(火)	時限	1限
	講義室	C402		
	担当者	青木		
	テーマ	周手術期の看護(9)開頭術をうける患者の看護		
	授業内容	1. 開頭術の術式を理解し、術式が患者に与える影響について説明できる。 2. 開頭術に必要となる術前・術後の特徴的な看護について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年07月01日(火)	時限	2限
	講義室	C402		
	担当者	青木		
	テーマ	周手術期の看護(10)泌尿器系手術をうける患者の看護		
	授業内容	1. 泌尿器系の術式を理解し、術式が患者に与える影響について説明できる。 2. 泌尿器系手術に必要となる術前・術後の特徴的な看護について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年07月08日(火)	時限	1限
	講義室	C402		
	担当者	青木		
	テーマ	集中治療の看護		
	授業内容	1. 集中治療室の場の特徴について説明できる。 2. 集中治療をうける患者とその家族の特徴について説明できる。 3. 集中治療中の全身管理と合併症予防のための看護について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 7年07月08日(火)	時限	2限
	講義室	C402・C406		
	担当者	青木		
	テーマ	救急看護・集中治療の看護：脳死と臓器移植		
	授業内容	1. 脳死下臓器提供における患者・家族の思いについて考察することができる。 2. 脳死下臓器提供における看護師の役割について考察することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		

評価方法	1. 定期試験80%とレポート課題20%で評価します。 2. 定期試験終了後の再試験は1回のみ行います。60点以上で合格とします。 3. 提出されたレポート課題は、評価後、コメントして返却します。
教科書	1. 系統別看護学講座 別巻 臨床外科総論、矢永勝彦ら編集、医学書院、2021。 2. 系統別看護学講座 別巻 臨床外科各論、北島政樹ら編集、医学書院、2020。
参考書	1. 系統別看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学②(呼吸器)・③(循環器)・⑤(消化器)・⑦(脳・神経)・⑧(腎泌尿器)、医学書院。 2. 経過別成人看護学①急性期看護：クリティカルケア、明石恵子ら編集、メヂカルフレンド社、2018。 3. 周手術期看護論(第3版)：雄西智恵美ら編集、ヌーベルヒロカワ、2014 4. 急性期看護Ⅰ概論・周手術期看護(改訂4版)：林直子ら、南江堂、2023
連絡先/オフィスアワー	【青木】C626研究室で12:10~13:00の間受け付ける。 上記時間に不在の場合もあるため、事前にアポイントメントをとること。

	メールアドレス kiaoki@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"><li>▪ 教科書等で該当部分を予習し、授業に臨んでください。また、出された課題については必ず取り組んだうえで授業に臨んでください。</li><li>▪ 授業後には教科書や参考書での復習を怠らないでください。</li><li>▪ 30分以上の遅刻は欠席とみなします。</li></ul>

講義名	成人看護学方法論Ⅲ		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（看護専門分野）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	1	時間	30.00
代表曜日	月曜日	代表時限	4限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	3年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
看護師/保健師	◎ 櫻庭 奈美	看護学科教員

担当教員	櫻庭 奈美
科目の目標	成人期・老年期に罹患率が高く、我が国の死因の第1位にあげられているがんに焦点をあて、予防、早期発見、治療、リハビリテーション等健康の各レベルにおける看護の役割について考察する。 具体的には、がん患者の事例をもとにがんという疾患の特殊性とその看護活動およびがん治療に伴う看護について学修する。
学習の具体的な目標	がんと診断され治療を受ける人、再発・転移となった人、終末期を迎える人とその家族について、全人的に理解し、その人らしく生きることを支援する看護を学ぶ。 1) がんと診断され様々な健康レベルにある人の特徴、およびそれらに必要な看護を説明できる。 2) がん患者が受ける検査、処置とその看護を説明できる。 3) がん治療等が、その人やその家族に及ぼす身体的・精神的・社会的な特徴を説明できる。 4) がん患者とその家族に必要な看護について説明できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月14日(月)	時限	4限
	講義室	C401		
	担当者	櫻庭		
	テーマ	がん看護学概論		
	授業内容	1. がんとは何か概説できる。 2. がんの疫学的動向を説明できる。 3. わが国のがん対策を概説できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月21日(月)	時限	4限
	講義室	C401		
	担当者	櫻庭		
	テーマ	がん患者・家族の状況		
	授業内容	1. がん患者のトータルペインについて説明できる。 2. がんサバイバーの体験をがん種別、病期(局面)別に対比させて違いを概説することができる。 3. がんサバイバーの家族の体験を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		

3	年月日(曜日)	令和 7年04月28日(月)	時限	4限
	講義室	C401		
	担当者	櫻庭		
	テーマ	がん医療とがん看護		
	授業内容	1. がんの治療(薬物療法、放射線療法、手術療法)と治験を概説できる。 2. がんの病期に基づいて、治療や生活の見通しを概説できる。 3. がん患者への緩和ケアと医療・チーム体制を療養先別に説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年05月12日(月)	時限	4限
	講義室	C401		
	担当者	櫻庭		
	テーマ	がん薬物療法における看護師の役割		
	授業内容	1. がん薬物療法の種類を説明できる。 2. がん薬物療法によって生じる有害事象とそのメカニズムを概説できる。 3. がん薬物療法を受ける患者の看護を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年05月19日(月)	時限	4限
	講義室	C401		
	担当者	櫻庭		
	テーマ	がん放射線療法における看護師の役割		
	授業内容	1. がん放射線療法のメカニズムを説明できる。 2. がん放射線療法によって生じる有害事象を説明できる。 3. 放射線療法を受ける患者・家族の看護の特徴を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年05月26日(月)	時限	4限
	講義室	C401		
	担当者	櫻庭		
	テーマ	がん治療期に出現しやすい身体症状とその看護:がん疼痛		
	授業内容	1. がんによる疼痛発生のメカニズムを説明できる。 2. がん疼痛の評価と生活への影響、心身の影響をアセスメントできる。 3. がん疼痛に対する薬物療法を学習し、薬剤の種類、その作用と副作用を説明できる。 4. がんの疼痛およびその疼痛軽減のための看護方法を説明できる。 知識の整理をもとに実際の看護援助を見聞する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年06月02日(月)	時限	4限
	講義室	C401		
	担当者	櫻庭		
	テーマ	がん進行に伴う身体症状とその看護:その他		
	授業内容	1. がん悪液質による倦怠感のメカニズムを概説できる。 2. がん悪液質の評価と生活への影響、心身への影響をアセスメントできる。 3. その他の身体症状のある患者の看護方法を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年06月09日(月)	時限	4限
	講義室	C401		
	担当者	櫻庭		
	テーマ	がん患者の心理とその支援		
	授業内容	1. 治療過程にあるがん患者および家族の心理をアセスメントすることができる。 2. がん患者および家族の心理に合わせた看護を具体的に説明できる。 3. 治療過程にあるがん患者および家族のスピリチュアルペインとその支援を概説することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年06月16日(月)	時限	4限
	講義室	C401		
	担当者	櫻庭		
	テーマ	ボディイメージに影響を与える症状とその看護		
	授業内容			

1. がんの進行と治療に伴うボディイメージとその変化について概説できる。
2. がんの進行や治療に伴う変化による心身への影響、日常生活に及ぼす影響とその看護を説明できる。  
(予習時間30分、復習時間30分)

10	年月日(曜日)	令和 7年06月23日(月)	時限	4限
	講義室	C401		
	担当者	櫻庭		
	テーマ	がん治療中の患者のアセスメント		
	授業内容	1. がん種、病期(局面)、治療、症状からがん患者の体験を読み解き、今後の生活とがんによる影響を予測することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年06月30日(月)	時限	4限
	講義室	C401		
	担当者	櫻庭		
	テーマ	血液がんの特徴とその看護		
	授業内容	1. 血液がんに対する治療とその特徴を説明できる。 2. 血液がんの特徴的な症状とその看護を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年07月07日(月)	時限	4限
	講義室	C401		
	担当者	櫻庭		
	テーマ	世代から考えるがん患者への看護		
	授業内容	1. AYA世代、成人期、老年期のがん患者の特徴を説明できる。 2. 世代ごとのがん患者における課題を心身の成熟や発達課題の観点から列挙することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年07月14日(月)	時限	4限
	講義室	C401		
	担当者	櫻庭		
	テーマ	がん患者への看護		
	授業内容	1. がん患者の体験を全人的な視点から概説することができる。 2. 事例患者への看護の方向性を3つ以上列挙することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年07月21日(月)	時限	4限
	講義室	C401		
	担当者	櫻庭		
	テーマ	がん医療における意思決定支援と倫理的課題		
	授業内容	1. がん医療における意思決定とその支援について説明できる。 2. アドバンス・ケア・プランニングについて説明できる。 3. がん医療における倫理的ジレンマを説明することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 7年07月28日(月)	時限	4限
	講義室	C401		
	担当者	櫻庭		
	テーマ	がん患者におけるエンド・オブ・ライフケア		
	授業内容	1. エンド・オブ・ライフケアの概念を説明できる。 2. がん終末期にある人の状態とケアの特徴を説明できる。 3. グリーフケアが必要な状態とケアの特徴を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		

評価方法	1. 定期試験70%、事前・事後課題30%を総合して評価します。 2. 定期試験終了後の再試験は1回のみ行います。
教科書	1. 系統看護学講座別巻 がん看護学、小松浩子ら、医学書院、2022。 2. 看護実践のための根拠が分かる 成人看護技術 がん・ターミナルケア、神田清子ら編集、メヂカルフレンド社、2015。
参考書	1. がん看護学 臨床に活かすがん看護の基礎と実践、大西和子、飯野京子編集、ヌーヴェルヒロカワ、2014。 2. 系統看護学講座成人看護学[4]血液・造血器、飯野京子ら、医学書院、2017。

	<p>3. 系統看護学講座成人看護学[5]消化器、松田明子ら、医学書院、2017.  4. 系統看護学講座成人看護学[9]女性生殖器、末岡浩ら、医学書院、2017.  5. 緩和ケア 大切な生活・尊厳ある生をつなぐ技と心、梅田恵、射場典子編集、南江堂、2011.  6. 経過別成人看護学④終末期看護・エンド・オブ・ライフケア、田村恵子編集、メヂカルフレンド社、2018.</p>
<p>連絡先/オフィスアワー</p>	<p>授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。  【櫻庭】  C610研究室で毎週月曜日12：10～13：00、および16:30以降受け付けます。  できれば事前にアポイントをとってください。メールアドレス：sakuraba@saitama-med.ac.jp</p>
<p>履修上の注意、履修要件</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 該当部分を予習し、教科書で内容の意味を理解しておいてください。</li> <li>▪ 授業後には教科書等での確認を怠らないでください。</li> </ul>

講義名	成人看護学方法論Ⅳ		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（看護専門分野）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	1	時間	30.00
代表曜日	火曜日	代表時限	1限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	3年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
看護師	◎ 本谷 久美子	看護学科教員

担当教員	本谷久美子・村田 美穂・櫻庭 奈美・青木 君恵・梶原 貴宏・工藤 岳夫・粟生田友子
科目の目標	成人期にある人の健康の保持・増進、療養支援に必要な看護の知識と技術を修得する。
学習の具体的な目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 周手術期の事例を通して、アセスメント、看護上の課題の特定および優先順位の決定、看護計画立案、実施、評価の看護過程の一連が展開できる。【グループワーク】</li> <li>2. 成人期にある人の療養に必要な援助が実施できる。【技術演習】</li> <li>3. 周手術期にある人の術後1日目の全身状態の観察および離床の援助が実施できる。【技術演習】</li> <li>4. 生命の危機的状況下にある人に、一次救命処置（心肺蘇生、自動体外式除細動器）が実施できる。【技術演習】</li> </ol>

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月16日(水)	時限	1限
	講義室	C302		
	担当者	本谷		
	テーマ	オリエンテーション／看護過程(1)		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護過程の一連について説明できる。</li> <li>2. 周手術期の事例をもとに、対象のアセスメントができる。 (予習時間30分、復習時間30分)</li> </ol>		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月22日(火)	時限	1限
	講義室	B401・B402		
	担当者	村田		
	テーマ	一次救命処置(BLS)		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. BLSのアルゴリズムについて概説できる。</li> <li>2. BLSのアルゴリズムにおける各技術を正しく実施できる。</li> <li>3. 症例をもとに、BLSのアルゴリズムの一連を実施できる。 (予習時間30分、復習時間30分)</li> </ol> ※Aクラス：4月22日(火)1限 Bクラス：4月24日(木)3限		
3	年月日(曜日)	令和 7年04月22日(火)	時限	2限
	講義室	B401・B402		

担当者	村田			
テーマ	一次救命処置 (BLS)			
授業内容	1. BLSのアルゴリズムについて概説できる。 2. BLSのアルゴリズムにおける各技術を正しく実施できる。 3. 症例をもとに、BLSのアルゴリズムの一連を実施できる。 (予習時間30分、復習時間30分) ※Aクラス：4月22日(火)2限 Bクラス：4月24日(木)4限			
4	年月日(曜日)	令和 7年06月03日(火)	時限	1限
	講義室	C402・B401・B402		
	担当者	村田		
	テーマ	血糖自己測定		
	授業内容	1. 血糖自己測定を、安全かつ正確に実施できる。 2. 血糖自己測定の留意点について説明できる。 3. 測定した血糖値についてアセスメントできる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年06月03日(火)	時限	2限
	講義室	C401・B401・B402		
	担当者	村田		
	テーマ	輸液ポンプ・シリンジポンプ		
	授業内容	1. 輸液ポンプ・シリンジポンプの使用目的、設定、操作方法について説明できる。 2. 輸液ポンプ・シリンジポンプのアラームの原因と対処について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年06月07日(土)	時限	3限
	講義室	B401・B402		
	担当者	村田		
	テーマ	寝衣交換・輸液管理		
	授業内容	1. 輸液中の寝衣交換を、安全・安楽に実施できる。 2. 輸液中の観察点と留意事項について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分) ※Aクラス：6月7日(土)3限 Bクラス：6月7日(土)1限		
7	年月日(曜日)	令和 7年06月07日(土)	時限	4限
	講義室	B401・B402		
	担当者	村田		
	テーマ	寝衣交換・輸液管理		
	授業内容	1. 輸液中の寝衣交換を、安全・安楽に実施できる。 2. 輸液中の観察点と留意事項について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分) ※Aクラス：6月7日(土)4限 Bクラス：6月7日(土)2限		
8	年月日(曜日)	令和 7年06月17日(火)	時限	1限
	講義室	C402・C407		
	担当者	本谷		
	テーマ	看護過程(2)看護上の課題の特定		
	授業内容	1. 分析した内容をもとに、グループで関連図の一部(術後合併症のメカニズム)を描くことができる。 2. 発表をうけて、分析内容を関連図で統合し、看護上の課題が特定できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年06月17日(火)	時限	2限
	講義室	C402・C407		
	担当者	本谷		
	テーマ	看護過程(2)看護上の課題の特定		
	授業内容	1. 分析した内容をもとに、グループで関連図の一部を描き統合することができる。 2. 発表をうけて、分析内容を関連図で統合し、看護上の課題が特定できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年06月24日(火)	時限	2限
	講義室	C402・C407		

担当者	本谷			
テーマ	看護過程 (3) 看護上の課題の優先順位の決定			
授業内容	1. 看護上の課題の優先順位の考え方について説明できる。 2. 看護上の課題の優先順位を決定し、その根拠が説明できる。 3. 看護上の課題を原因句と問題句に分けて表記できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
11	年月日(曜日)	令和 7年07月15日(火)	時限	1限
	講義室	C402・C407		
	担当者	本谷		
	テーマ	看護過程 (4) 看護計画立案		
	授業内容	1. 看護計画の短期目標と評価日の設定、援助計画について説明できる。 2. 特定された看護上の課題に対して、グループで看護計画を立案できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年07月15日(火)	時限	2限
	講義室	C402・C407		
	担当者	本谷		
	テーマ	看護過程 (4) 看護計画立案		
	授業内容	1. 看護計画の短期目標と評価日の設定、援助計画について説明できる。 2. 特定された看護上の課題に対して、グループで看護計画を立案できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年07月18日(金)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	本谷		
	テーマ	看護過程 (5) 実施・評価		
	授業内容	1. 看護過程の実施、評価について説明できる。 2. 実施した看護援助をSOAPで記載できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年07月22日(火)	時限	1限
	講義室	B401・B402		
	担当者	村田		
	テーマ	術後1日目の援助：全身状態の観察・離床		
	授業内容	1. 術後1日目の患者の全身状態が観察できる。 2. 患者の安全・安楽に配慮し、術後1日目の初回歩行が実施できる。 (予習時間30分、復習時間30分) ※Aクラス：7月22日(火)1限 Bクラス：7月25日(金)1限		
15	年月日(曜日)	令和 7年07月22日(火)	時限	2限
	講義室	B401・B402		
	担当者	村田		
	テーマ	術後1日目の援助：全身状態の観察・離床		
	授業内容	1. 術後1日目の患者の全身状態が観察できる。 2. 患者の安全・安楽に配慮し、術後1日目の初回歩行が実施できる。 (予習時間30分、復習時間30分) ※Aクラス：7月22日(火)2限 Bクラス：7月25日(金)2限		
評価方法	1. 看護過程 (50%)、筆記試験 (30%)、課題 (20%)、演習への参加度などを総合して評価します。 2. 総合評価60点未満の場合は、看護過程の再提出と筆記試験を1回のみ行います。 3. 総合評価60点以上の場合でも、看護過程が一定の基準に達していない場合は、看護過程の再提出を1回のみ求めます。 4. 遅刻限度を30分とし、それ以降は欠席扱いとします。 5. 提出課題については評価後、フィードバックを行います。			
教科書	授業時に、資料を配布します。			
参考書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・系統看護学講座 別巻 救急看護学. 医学書院.</li> <li>・系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論. 医学書院.</li> <li>・系統看護学講座 別巻 臨床外科各論. 医学書院.</li> <li>・看護がみえる Vol.4 看護過程の展開. メディックメディア.</li> </ul>			

<p>連絡先/オフィスアワー</p>	<p>授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。  【本谷】C620研究室で12：10～13：00の間、随時受け付けます。  【村田】C617研究室で12：10～13：00の間、随時受け付けます。  メールアドレスは学生便覧参照のこと。</p>
<p>履修上の注意、履修要件</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 課題に取り組んだうえで、授業に臨んでください。</li> <li>▪ 課題に取り組んでいない場合は、原則、グループワークや技術演習に参加できません。</li> <li>▪ 授業後は、課題に取り組んでください。</li> </ul>

講義名	老年看護学活動論		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（看護専門分野）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	2	時間	60.00
代表曜日	木曜日	代表時限	1限
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/60時間		
必修・選択	必修		
配当年次	3年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
看護師	◎ 丸井 明美	看護学科教員

担当教員	丸井 明美・鳥谷めぐみ・高橋裕里子・加藤巳佐子
科目の目標	家族形態や社会的役割の変容、加齢に伴う心身機能の低下、避けられない死に直面し老いを生きる高齢者を理解し、高齢者の生活を整え、高齢者とその家族のQOLを支える看護について理解を深める。 また、事例をとおして高齢者を包括的にアセスメントし必要な看護について考える。
学習の具体的な目標	1) 高齢者の包括的アセスメントについて説明できる。 2) 高齢者の心身の変化が生活機能に及ぼす影響と生活を整える看護について説明できる。 3) 認知症高齢者に対する個別性をふまえた看護について説明できる。 4) 高齢者の人権と倫理的課題について説明できる。 5) 高齢者とその家族のQOLを支える看護について説明できる。 6) 事例を通して老年看護の看護過程を説明できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月17日(木)	時限	1限
	講義室	C302		
	担当者	丸井・鳥谷・高橋		
	テーマ	ガイダンス 高齢者の包括的アセスメント①		
	授業内容	1. 本科目の学修目標を踏まえ、主体的な学修計画をプログラムできる。 2. 老年看護学概論での学びを想起し、高齢者を包括的に捉えることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月17日(木)	時限	2限
	講義室	C302		
	担当者	丸井・鳥谷・高橋		
	テーマ	高齢者の包括的アセスメント②		
	授業内容	1. 高齢者を包括的にアセスメントするための視点とツールについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年04月24日(木)	時限	1限
	講義室	C302		

担当者	丸井・鳥谷・高橋			
テーマ	高齢者のライフストーリー①			
授業内容	1. ライフストーリーを通して、高齢者が大切にしている価値観・信念・生活をアセスメントする。 (予習時間30分、復習時間30分)			
4	年月日(曜日)	令和 7年04月24日(木)	時限	2限
	講義室	C302		
	担当者	丸井・鳥谷・高橋		
	テーマ	高齢者のライフストーリー②実際にやってみよう		
	授業内容	1. ライフストーリーの演習を通して、高齢者が大切にしている価値観・信念・生活をアセスメントする。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年05月01日(木)	時限	1限
	講義室	C302		
	担当者	丸井・鳥谷・高橋		
	テーマ	高齢者と家族を支える看護		
	授業内容	1. 高齢者と高齢者を支える家族支援について、最新の家族看護に関する動向を踏まえてアセスメントすることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年05月01日(木)	時限	2限
	講義室	C302		
	担当者	丸井・鳥谷・高橋		
	テーマ	高齢者の終末期看護		
	授業内容	1. 高齢者の終末期の特徴について説明できる。 2. 高齢者のエンドオブライフケアについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年05月08日(木)	時限	1限
	講義室	C302		
	担当者	丸井・鳥谷・高橋		
	テーマ	高齢者の食事と栄養		
	授業内容	1. 高齢者にとっての食事の意味について説明できる。 2. 加齢による消化器系の変化と低栄養について説明できる。 3. 高齢者の摂食嚥下障害と看護について説明できる。 4. 高齢者の栄養マネジメントについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年05月08日(木)	時限	2限
	講義室	C302		
	担当者	丸井・鳥谷・高橋		
	テーマ	高齢者の口腔ケア		
	授業内容	1. 加齢による口腔機能の変化について説明できる。 2. 高齢者の口腔ケアの必要性とその方法について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年05月15日(木)	時限	1限
	講義室	C302		
	担当者	丸井・鳥谷・高橋		
	テーマ	高齢者の排泄①		
	授業内容	1. 加齢に伴う排尿機能の変化について説明できる。 2. 高齢者の排尿の特徴と看護について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年05月15日(木)	時限	2限
	講義室	C302		
	担当者	丸井・鳥谷・高橋		
	テーマ	高齢者の排泄②		

授業内容	1. 加齢に伴う排便機能の変化について説明できる。 2. 高齢者の排便の特徴と看護について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
11	年月日(曜日)	令和 7年05月22日(木)	時限	1限
	講義室	C302		
	担当者	丸井・鳥谷・高橋		
	テーマ	高齢者の清潔		
	授業内容	1. 高齢者の皮膚の特徴と高齢者に生じやすいスキンケア、皮膚疾患、褥瘡について説明できる。 2. 高齢者にとっての清潔の意味と看護について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年05月22日(木)	時限	2限
	講義室	C302		
	担当者	丸井・鳥谷・高橋		
	テーマ	高齢者の活動と休息		
	授業内容	1. 高齢者の活動と休息、睡眠の特徴について説明できる。 2. 高齢者の生活リズムを整える看護について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年05月29日(木)	時限	1限
	講義室	C302		
	担当者	丸井・鳥谷・高橋		
	テーマ	運動機能が低下している高齢者の看護①		
	授業内容	1. 転倒と骨折予防のための看護について説明できる。 2. フレイル、サルコペニア、ロコモティブシンドロームについて説明できる。 3. 老年症候群、廃用症候群、寝たきり予防のための看護について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年05月29日(木)	時限	2限
	講義室	C302		
	担当者	丸井・鳥谷・高橋		
	テーマ	検査や手術を受ける高齢者の看護		
	授業内容	1. 検査を受ける高齢者の看護について説明できる。 2. 手術を受ける高齢者の看護について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 7年06月05日(木)	時限	1限
	講義室	C302		
	担当者	丸井・鳥谷・高橋		
	テーマ	認知症ケア①		
	授業内容	1. 認知症の予防と看護について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
16	年月日(曜日)	令和 7年06月05日(木)	時限	2限
	講義室	C302		
	担当者	加藤・丸井・鳥谷・高橋		
	テーマ	認知症ケア②		
	授業内容	1. 認知症サポーターについて説明できる。 2. 認知症になっても安心して地域で生活できる支援について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
17	年月日(曜日)	令和 7年06月12日(木)	時限	1限
	講義室	C302		
	担当者	丸井・鳥谷・高橋		
	テーマ	高齢者の退院支援		
	授業内容	1. 高齢者の退院支援について説明できる。 2. 高齢者の入院関連機能障害(HAD)について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
18	年月日(曜日)	令和 7年06月12日(木)	時限	2限

講義室	C302			
担当者	丸井・鳥谷・高橋			
テーマ	老年看護の看護過程			
授業内容	1. オリエンテーションを受け、主体的な学習計画を立案できる。 2. ICFについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
19	年月日(曜日)	令和 7年06月19日(木)	時限	1限
	講義室	C302		
	担当者	丸井・鳥谷・高橋		
	テーマ	老年看護の看護過程の展開；事例紹介		
	授業内容	1. 事例から対象者の全体像を捉えることができる。 2. 疾患の病態、薬物、看護など、わからないことを主体的に調べることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
20	年月日(曜日)	令和 7年06月19日(木)	時限	2限
	講義室	C302		
	担当者	丸井・鳥谷・高橋		
	テーマ	老年看護の看護過程の展開；情報の整理(個人)		
	授業内容	1. 対象者の情報をICFの枠組みで整理できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
21	年月日(曜日)	令和 7年06月26日(木)	時限	1限
	講義室	C302		
	担当者	丸井・鳥谷・高橋		
	テーマ	老年看護の看護過程の展開；情報のアセスメント(個人)		
	授業内容	1. 対象者の情報を根拠(科学的な視点)に基づいてアセスメントできる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
22	年月日(曜日)	令和 7年06月26日(木)	時限	2限
	講義室	C302		
	担当者	丸井・鳥谷・高橋		
	テーマ	老年看護の看護過程の展開；看護の必要性和目標(個人・GW)		
	授業内容	1. 看護の必要性から看護の焦点を抽出し、目標を設定できる。 2. 個人ワークで導き出した必要性、看護焦点、目標をグループでディスカッションできる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
23	年月日(曜日)	令和 7年07月03日(木)	時限	1限
	講義室	C302		
	担当者	丸井・鳥谷・高橋		
	テーマ	老年看護の看護過程の展開；計画の立案(個人・GW)		
	授業内容	1. 個別性のある看護計画を立案できる。 2. 個人ワークで立案した計画をグループでディスカッションできる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
24	年月日(曜日)	令和 7年07月03日(木)	時限	2限
	講義室	C302		
	担当者	丸井・鳥谷・高橋		
	テーマ	老年看護の看護過程の発表準備(GW)		
	授業内容	1. 発表に向けて準備することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
25	年月日(曜日)	令和 7年07月10日(木)	時限	1限
	講義室	C302		
	担当者	丸井・鳥谷・高橋		
	テーマ	老年看護の看護過程の発表①		
	授業内容	1. 看護過程の展開を発表できる。 2. 他者の発表を聞き意見を述べるすることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		

26	年月日(曜日)	令和 7年07月10日(木)	時限	2限
	講義室	C302		
	担当者	丸井・鳥谷・高橋		
	テーマ	老年看護の看護過程の発表②		
	授業内容	1. 看護過程の展開を発表できる。 2. 他者の発表を聞き意見を述べるができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
27	年月日(曜日)	令和 7年07月17日(木)	時限	1限
	講義室	C302		
	担当者	丸井・鳥谷・高橋		
	テーマ	運動機能が低下している高齢者の看護②実際にやってみよう		
	授業内容	1. 演習を通して、高齢者の歩行、移動の特徴と看護について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
28	年月日(曜日)	令和 7年07月17日(木)	時限	2限
	講義室	C302		
	担当者	丸井・鳥谷・高橋		
	テーマ	高齢者のリハビリテーション		
	授業内容	1. 高齢者のリハビリテーションの目的と看護について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
29	年月日(曜日)	令和 7年07月24日(木)	時限	1限
	講義室	C302		
	担当者	丸井・鳥谷・高橋		
	テーマ	高齢者の倫理的課題		
	授業内容	1. 高齢者の倫理的課題に気づくことができる。 2. 高齢者の虐待と予防、看護について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
30	年月日(曜日)	令和 7年07月24日(木)	時限	2限
	講義室	C302		
	担当者	丸井・鳥谷・高橋		
	テーマ	老年看護の看護過程のまとめ		
	授業内容	1. 老年看護の看護過程をまとめ、学修を進めていく上での自己の課題を明確にできる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法	1. 定期試験(60%)。 2. 授業内の小テスト・レポート(30%)。 3. 授業の参加度(10%)。 4. 不合格者については定期試験終了後に再試験を1回行う。			
教科書	1. 老年看護学①高齢者の健康と障害、メディカ出版(2年次に使用したもの) 2. 老年看護学②高齢者看護の実践、メディカ出版(2年次に使用したもの) 3. 生活機能からみた老年看護過程、山田律子他編、医学書院(2年次に使用したもの)			
参考書	1. 高齢者ケアの質を高めるICFを生かしたケアプロセス、学文社 2. カラー写真で学ぶ 高齢者の看護技術 第2版、大塚真理子編著、医歯薬出版株式会社 3. 認知症plusコミュニケーション、日本看護協会出版会 4. 認知症ケアガイドブック、照林社			
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問は授業時間にして下さい。 オフィスアワー：木曜日(12:10~13:00) 上記時間帯に訪問することが難しい場合は、事前にメール等でアポイントメントを取ってください。 mail：marui@saitama-med.ac.jp、toriya@saitama-med.ac.jp			
履修上の注意、履修要件	事前学習として教科書の該当ページを予習し、授業後は学習内容の見直しを行ってください。 高齢者ガイドラインをチェックし、自己学修を計画に進めてください。			

講義名	母子看護方法論		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（看護専門分野）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	1	時間	30.00
代表曜日	水曜日	代表時限	2限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	3年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
助産師	◎ 大森 智美	看護学科教員

担当教員	大森 智美・松坂 充子・川合 美奈
科目の目標	妊娠期から育児期は母性看護学 小児看護学の領域を越えた統合的包括的看護実践が求められる。母親、父親、子どもへの一体的看護実践を学び、多様な問題や課題を抱える家族に看護を提供するために、母子の視点で対象者を分析し、求められる看護が創造できるようになる。
学習の具体的な目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 家族のもつ多様な問題や課題を、母子看護の視点から記述することができる。</li> <li>2 テーマとなる問題や課題に対して、意見をもち討議することができる。</li> <li>3 母子保健施策の基盤課題において、母子看護における援助方法を調べるすることができる。</li> <li>4 母子保健・医療・福祉について、看護職として求められる行動を論じることができる。</li> </ol>

授業計画表				
見学は5グループに分かれて行う。1～5回目の見学と講義の日程の詳細は第1回講義の中で説明する。6回目以降は合同で行う。				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月16日(水)	時限	2限
	講義室	C203		
	担当者	大森・松坂・川合		
	テーマ	オリエンテーション		
	授業内容	1. この講義の目的、概要を述べるができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月23日(水)	時限	1限
	講義室	C203		
	担当者	大森・松坂・川合		
	テーマ	2. 子どもと父母を取りまく環境について		
	授業内容	1. 文献より、家族形態の変化などを調べるができる。 キーワード：家族形態、世帯人数、子どもの数、ひとり親世帯の数（小学校1年生の時と現在の変化を比較） 2. 現在の日本の子どもを生み育てる世代の社会経済状況について調べるができる。 キーワード：社会保障制度（いつから、何をきっかけに制度が作られたか） (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年04月23日(水)	時限	2限

講義室	C203			
担当者	大森・松坂・川合			
テーマ	3. 母子分離状態にある親子の看護			
授業内容	1. 入院・入所により母子分離状態にある子供と親への看護について考察することができる。 キーワード：母子分離とは、母子分離の影響、解決方法の現状 (予習時間30分、復習時間30分)			
4	年月日(曜日)	令和 7年04月30日(水)	時限	1限
	講義室	C203		
	担当者	松坂・川合・大森		
	テーマ	4. 様々な状況下での母子への対応①		
	授業内容	1. 様々な状況下での母子の実態について述べるができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年04月30日(水)	時限	2限
	講義室	C203		
	担当者	松坂・川合・大森		
	テーマ	4. 様々な状況下での母子への対応②		
	授業内容	1. 様々な状況下での母子の実態に関するグループワークをもとに、看護師としてのかかわりを考察することができる。 話し合いの内容を発表することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年05月07日(水)	時限	1限
	講義室	C203		
	担当者	松坂・川合・大森		
	テーマ	様々な状況下での母子への対応③		
	授業内容	"		
7	年月日(曜日)	令和 7年05月07日(水)	時限	2限
	講義室	C203		
	担当者	松坂・川合・大森		
	テーマ	5. 母子看護の場・施設内看護から見える母子の現状①		
	授業内容	1. 各施設や入院・入所する子どもの特徴を知ることができる。 2. 見学施設での質問を検討し、臨地学習の準備をすることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年05月14日(水)	時限	集中講義
	講義室	学外		
	担当者	大森・川合・松坂		
	テーマ	5. 母子看護の場・施設内看護からみえる母子の現状② 施設見学 埼玉医科大学総合医療センター 総合周産期母子医療センター NICU PICU カルガモの家		
	授業内容	1. 各施設に入院・入所する家族が必要とする看護について考察することができる。 2. 各施設に入院・入所する子どもの特徴を述べるができる。 3. 各施設機能や役割について述べるができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年05月21日(水)	時限	1限
	講義室	C203		
	担当者	川合・大森		
	テーマ	5. 母子看護の場・施設内看護からみえる母子の現状③(見学のまとめ①)		
	授業内容	1. 各施設の見学を通し得られた情報および知識を共有し、ディスカッションすることができる。 2. 各施設に入院・入所する子どもと家族が必要とする看護について考察できる。 1) 各施設の見学を通し得られた情報の共有 2) 各施設に入院・入所する子どもと家族が必要とする看護とは 3) 母子や家族が抱える問題とは (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年05月21日(水)	時限	2限

講義室	C203			
担当者	川合・大森			
テーマ	5. 母子看護の場・施設内看護からみえる母子の現状④（見学のまとめ②）			
授業内容	”			
11	年月日(曜日)	令和 7年05月28日(水)	時限	2限
	講義室	C203		
	担当者	大森		
	テーマ	5. 母子看護の場・施設内看護からみえる母子の現状④（見学のまとめ③）		
	授業内容	”		
12	年月日(曜日)	令和 7年06月04日(水)	時限	2限
	講義室	C203		
	担当者	大森		
	テーマ	5. 母子看護の場・施設内看護からみえる母子の現状⑤		
	授業内容	1. 母子への支援の実態を踏まえ、看護師としてできる支援について考えることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年06月11日(水)	時限	2限
	講義室	C203		
	担当者	川合・大森		
	テーマ	6. 災害時の母子の看護①		
	授業内容	1. 疾患・障がいのある子どもを持つ養育者の災害時の状況、課題について考察することができる。 2. 災害時の母子にとっての備えとはどのようなことか考えることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年06月18日(水)	時限	2限
	講義室	C203		
	担当者	川合・大森		
	テーマ	災害時の母子の看護②		
	授業内容	1. 避難所生活での乳幼児、障害児に必要な備えと看護について検討することができる。 2. 災害時に子どもの生活に必要な物品の作成体験により、工夫の方法を理解できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 7年06月25日(水)	時限	2限
	講義室	C203		
	担当者	大森・松坂・川合		
	テーマ	まとめ		
	授業内容	1. 母子への支援の実態および看護師としてできる支援について共有し、理解を深めることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		

評価方法	1. 授業内での活動；個人ならびにグループでの学修やプレゼンテーションでの表現 2. 各課題の提出状況 3. 定期試験（再試験はない）
教科書	授業ごとに、内容に沿った資料を配布する。
参考書	授業で紹介する。
連絡先/オフィスアワー	講義および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【大森】 月曜日・金曜日の3・4限 上記の時間帯以外で面接を希望する者は、メールにてアポイントメントをとること。 E-mail : t_oomr@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	【履修上の約束】 1. この科目は演習科目です。授業方法の特徴から、同じ授業を再現することができないため欠席に対して補習を行うことは困難です。授業の出席により成立する学習の達成度があるため、授業に臨めるように努めてください。 2. 授業で知り得た個人に関わることは授業の中に留めましょう。例えば医療者の言動や患者情報、個人の発言や考えなどを、授業以外の場で口外しないでください。 3. 聞く姿勢、話す態度を意識し、互いに尊重し合う姿勢を意識し忘れないようにしてください。 4. グループワークでは、発表者や司会・進行、資料作りなど役割が偏ることがないようにしましょう。 5. 授業中に限らず学習に対して誠実に取り組みましょう。

【学びを効果的にすすめるために】

1. これまで学んだ看護の対象者や特徴を振り返り、授業に活用しましょう。またこの科目での学びは、今後の学修において、つながっていくことを理解しておきましょう。
2. 学習に活用できるインターネット情報は、発信元や内容の信頼性を見極め活用しましょう。さらにその情報が最新であるかは重要ですが、そこに至るまでの変遷や時代の背景を考えることで、『今を知る』ことにつながります。
3. 演習科目の特徴から他者との意見交換を前提にしています。ディスカッションやプレゼンテーションの機会は積極的に参加しましょう。
4. 疑問に感じたことは、些細なことではないかと思っても調べてみましょう。また学びは記憶ではなく、記録に留めておきましょう。
5. 他者の考えに触れること、自分以外の誰かに自分の考えを伝えることで、さらに自分の学びは広がっていきます。考えを伝えることで、自分が何をどのように考えているかも整理する機会にしていきましょう。

講義名	精神看護学活動論		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（看護専門分野）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	2	時間	60.00
代表曜日	金曜日	代表時限	1限
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/60時間		
必修・選択	必修		
配当年次	3年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
看護師	◎ 大澤 優子	看護学科教員

担当教員	大澤 優子・大賀 淳子・大木田亜衣
科目の目標	精神科看護の対象となる人への治療的な関わりと基本的看護援助について具体的に学ぶ。
学習の具体的な目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 精神科看護の対象を理解するために必要な疾患、症状、検査および治療に関する系統的情報を説明できる。</li> <li>2) 治療的環境の意味と意義を理解し、治療的環境の調整について説明できる。</li> <li>3) 主な精神疾患における看護について説明できる。</li> <li>4) 精神科リハビリテーションの考え方を理解し、地域精神保健活動における看護職の役割を説明できる。</li> <li>5) 精神科における看護過程の基本を理解し、具体的事例について看護計画を作成できる。</li> </ol> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) ～4) では、適宜、少人数でのディスカッションを行う。</li> <li>5) では、グループワーク、プレゼンテーションおよび全体討議を行う。</li> </ol>

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月11日(金)	時限	1限
	講義室	C301		
	担当者	大賀		
	テーマ	精神症状		
	授業内容	1. 主な精神症状について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月11日(金)	時限	2限
	講義室	C301		
	担当者	大賀		
	テーマ	精神疾患(1)		
	授業内容	1. 統合失調症の特徴、症状、治療について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年04月18日(金)	時限	1限
	講義室	C301		

担当者	大賀			
テーマ	精神疾患 (2)			
授業内容	1. 気分障害の特徴、症状、治療について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
4	年月日(曜日)	令和 7年04月18日(金)	時限	2限
	講義室	C301		
	担当者	大賀		
	テーマ	精神疾患 (3)		
	授業内容	1. 神経症性障害の特徴、症状、治療について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年04月25日(金)	時限	1限
	講義室	C301		
	担当者	大賀		
	テーマ	入院環境と治療的アプローチ		
	授業内容	1. 精神科病棟の特徴と入院する精神障害者のもつ問題について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年04月25日(金)	時限	2限
	講義室	C301		
	担当者	大賀		
	テーマ	"		
	授業内容	1. 治療的環境について理解し、治療的環境の調整について説明できる。 2. 事例をとおして治療的環境のあり方を考え説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年05月02日(金)	時限	1限
	講義室	C301		
	担当者	大澤		
	テーマ	精神科における治療		
	授業内容	1. 精神科における治療について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年05月02日(金)	時限	2限
	講義室	C301		
	担当者	大澤		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
9	年月日(曜日)	令和 7年05月09日(金)	時限	1限
	講義室	C301		
	担当者	大木田		
	テーマ	精神疾患と看護の実際 (1)		
	授業内容	1. 統合失調症における看護について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年05月09日(金)	時限	2限
	講義室	C301		
	担当者	大木田		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
11	年月日(曜日)	令和 7年05月16日(金)	時限	1限
	講義室	C301		
	担当者	大澤		
	テーマ	精神疾患と看護の実際 (2)		

授業内容	1. 気分障害における看護について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
12	年月日(曜日)	令和 7年05月16日(金)	時限	2限
	講義室	C301		
	担当者	大澤		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
13	年月日(曜日)	令和 7年05月23日(金)	時限	1限
	講義室	C301		
	担当者	大澤		
	テーマ	精神疾患と看護の実際 (3)		
	授業内容	1. 神経症性障害における看護について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年05月23日(金)	時限	2限
	講義室	C301		
	担当者	大澤		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
15	年月日(曜日)	令和 7年05月30日(金)	時限	1限
	講義室	C301		
	担当者	大澤		
	テーマ	精神保健活動とリハビリテーション		
	授業内容	1. 精神科リハビリテーションの考え方について説明できる。 2. 地域精神保健活動における社会資源について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
16	年月日(曜日)	令和 7年05月30日(金)	時限	2限
	講義室	C301		
	担当者	大澤		
	テーマ	地域生活へのケア (特別講師: ◇池田恵都子氏、横塚正和氏)		
	授業内容	1. 精神障害者の地域生活についての現状と課題を知り、援助者の役割について文章にまとめることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
17	年月日(曜日)	令和 7年06月06日(金)	時限	1限
	講義室	C301		
	担当者	大賀		
	テーマ	救急医療現場における患者支援と精神的関わり		
	授業内容	1. 救急医療現場での精神的対応と看護の留意点について説明できる。 2. 自殺未遂者への初期対応について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
18	年月日(曜日)	令和 7年06月06日(金)	時限	2限
	講義室	C301		
	担当者	大澤		
	テーマ	家族 (特別講師: ◇岡田久実子氏)		
	授業内容	1. ご家族の体験談を聞いて、家族への支援についての自分の考えを文章にまとめることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
19	年月日(曜日)	令和 7年06月13日(金)	時限	1限
	講義室	C301・C305		
	担当者	大澤		
	テーマ	精神科の看護実習とプロセスレコード		
	授業内容			

1. 精神科における看護実習の特徴について説明することができる。
2. 看護場面の再構成、プロセスレコードについて説明できる。

(予習時間30分、復習時間30分)

20	年月日(曜日)	令和 7年06月13日(金)	時限	2限
	講義室	C301・C305		
	担当者	大澤・大賀・大木田		
	テーマ	プロセスレコード		
	授業内容	1. プロセスレコードの作成、検討、修正ができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
21	年月日(曜日)	令和 7年06月20日(金)	時限	1限
	講義室	C301・C305・C306		
	担当者	大澤		
	テーマ	精神疾患と看護の実際(4) (特別講師: ◇高橋一光氏ほか)		
	授業内容	1. 当事者による講義を聞いて、アディクションの本質について理解し、その内容を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
22	年月日(曜日)	令和 7年06月20日(金)	時限	2限
	講義室	C301・C305・C306		
	担当者	大澤・大賀・大木田		
	テーマ	"		
	授業内容	1. 当事者の講義を受けて、グループディスカッションおよび全体討議を行い、援助者の役割について文章にまとめることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
23	年月日(曜日)	令和 7年06月27日(金)	時限	1限
	講義室	C301		
	担当者	大澤		
	テーマ	精神看護の看護過程(1)		
	授業内容	1. 精神疾患を持つ患者の看護過程の基本を理解しその内容を説明できる。 2. 精神疾患を持つ患者のアセスメントの視点について説明できる。 3. セルフケア理論の概要を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
24	年月日(曜日)	令和 7年06月27日(金)	時限	2限
	講義室	C301		
	担当者	大澤		
	テーマ	精神看護の看護過程(2)		
	授業内容	1. 統合失調症患者の紙上事例についてフェイスシートを作成できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
25	年月日(曜日)	令和 7年07月04日(金)	時限	1限
	講義室	C301・C305		
	担当者	大澤・大賀・大木田		
	テーマ	精神看護の看護過程(3)		
	授業内容	1. 統合失調症患者の紙上事例について、アセスメント(情報の整理)ができる(個人ワーク・グループワーク)。 (予習時間30分、復習時間30分)		
26	年月日(曜日)	令和 7年07月04日(金)	時限	2限
	講義室	C301・C305		
	担当者	大澤・大賀・大木田		
	テーマ	精神看護の看護過程(4)		
	授業内容	1. グループで作成したアセスメントを発表し、他グループからの意見をもとに修正することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
27	年月日(曜日)	令和 7年07月11日(金)	時限	1限
	講義室	C301・C305		
	担当者	大澤・大賀・大木田		

テーマ	精神看護の看護過程 (5)			
授業内容	1. 紙上事例についての関連図をグループで作成することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
28	年月日(曜日)	令和 7年07月11日(金)	時限	2限
	講義室	C301・C305		
	担当者	大澤・大賀・大木田		
	テーマ	精神看護の看護過程 (6)		
	授業内容	1. グループで作成した関連図に対しての他グループからの意見をもとに、関連図の修正を図ることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
29	年月日(曜日)	令和 7年07月18日(金)	時限	1限
	講義室	C301・C305		
	担当者	大澤・大賀・大木田		
	テーマ	精神看護の看護過程 (7)		
	授業内容	1. 紙上事例についての看護問題の一つ取り上げ、看護計画をグループで作成することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
30	年月日(曜日)	令和 7年07月18日(金)	時限	2限
	講義室	C301・C305		
	担当者	大澤・大賀・大木田		
	テーマ	精神看護の看護過程 (8)		
	授業内容	1. グループで作成した看護計画を発表し、他グループからの意見をもとに、看護計画の修正を図ることができる。 2. 紙上事例の看護過程に関する一連の書類を完成させることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法	1. 出席状況、定期試験成績、レポートによる総合評価とする。 2. レポートは、特別講師による3回の講義、プロセスレコード、および看護過程の計5つで、コメントをつけて返却する。 3. 定期試験不合格者には、再試験を1回のみ行う。			
教科書	ナーシング・グラフィカ 精神看護学② 精神障害と看護の実践、メディカ出版			
参考書	1. 心を病む人の看護、坂田三充編集、中央法規、1995 2. 心を癒す 実践オレムアンダーウッド理論(アクティブ・ナーシング)、南裕子、講談社、2005			
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【大澤】 金の授業終了後 ~18:00 上記時間帯に訪問できない場合は、事前にメールでアポイントメントをとること。 E-mail: osawa@saitama-med.ac.jp			
履修上の注意、履修要件	授業前日には教科書の該当ページを予習し、放課後には学習内容の見直しを行うこと。さらに余暇を利用して図書館での参考書、参考文献の確認などを行い、学習内容の理解を深めることに心掛けること。 特に精神疾患の看護に関する講義の前には、精神看護学概論(2年次)で学んだ疾患に関する知識を復習しておくこと。			

講義名	在宅看護学活動論Ⅱ		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（看護専門分野）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	2	時間	60.00
代表曜日	金曜日	代表時限	3限
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/60時間		
必修・選択	必修		
配当年次	3年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
看護師	◎ 西岡 ひとみ	看護学科教員

担当教員	西岡ひとみ・千田みゆき・川端 泰子・齋木 実・白石 恵子・飯島 若子・小山 優子
科目の目標	在宅療養者の清潔、栄養と食事、排泄、移動等の日常生活の援助技術、在宅酸素療法、膀胱留置カテーテル、在宅経管・経腸栄養法、在宅中心静脈栄養法、褥創ケア等の在宅看護の基本技術、さらに寝たきりの者、認知症高齢者、難病や終末期の療養者への看護と家族支援について学習し、在宅療養者と家族に対する看護過程を展開する。また、地域ケアシステムにおける関係機関や他職種と連携・協働することの重要性、および地域の健康ニーズに応じた地域ケアシステムを開発することの重要性を理解するとともに、訪問看護ステーション管理について学ぶ。
学習の具体的な目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域・生活（暮らし）の場での訪問看護の特徴を説明できる。</li> <li>2. 在宅における生活援助と家族介護者に対する看護を説明できる。</li> <li>3. 訪問看護における倫理的配慮、訪問マナー・接遇を説明できる。</li> <li>4. 在宅で療養する難病者、精神障がい者、高齢者、療養児に対する看護を説明できる。</li> <li>5. 在宅における終末期看護を説明できる。</li> <li>6. 在宅療養者と家族介護者に対する看護過程が展開できる。</li> <li>7. 医療管理を必要とする療養者と家族に対する看護を説明できる。</li> <li>8. 災害等における訪問看護事業所の事業継続計画（BCP）、安全管理について説明できる。</li> <li>9. 在宅ケアにおける在宅医療と訪問看護について説明できる。</li> <li>10. 地域包括ケアシステムにおける多職種連携、在宅ケアマネジメントについて説明できる。</li> </ol>

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月11日(金)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	西岡		
	テーマ	地域・生活の場（暮らしの場）での訪問看護 授業ガイダンス		
	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・療養者の生活（暮らし）を説明できる。</li> <li>・療養者の生活（暮らし）と看護について説明できる。</li> <li>・授業展開について理解できる。</li> </ul> （予習時間30分、復習時間30分）		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月11日(金)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	西岡		

テーマ	在宅療養者の日常生活を支える看護援助			
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活動作、手段的日常生活動作への援助を説明できる。</li> <li>・居住環境のアセスメントを説明できる。</li> </ul> (予習時間30分、復習時間30分)			
3	年月日(曜日)	令和 7年04月18日(金)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	西岡		
	テーマ	訪問看護における倫理、訪問マナーと接遇 居宅訪問演習①ガイダンス		
	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初回訪問の意義、目的、配慮を説明できる。</li> <li>・訪問の手順と倫理、心構えを説明できる。</li> <li>・在宅看護学実習における同行訪問をイメージできる。</li> </ul> (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年04月18日(金)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	西岡		
	テーマ	在宅療養者と家族介護者への看護過程の展開① 事例：人工肛門を造設したアルツハイマー型認知症療養者の看護		
	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事例から情報を収集し、情報の整理ができる。</li> <li>・病態と生活の関連図作成の方法が作成できる。</li> </ul> (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年04月25日(金)	時限	3限
	講義室	B101		
	担当者	西岡・川端		
	テーマ	居宅訪問演習① <ul style="list-style-type: none"> <li>・居宅訪問マナー</li> <li>・フィジカルアセスメント</li> </ul>		
	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問マナーと接遇に留意し実施できる。</li> <li>・在宅におけるフィジカルアセスメントができる。</li> </ul> (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年04月25日(金)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	西岡		
	テーマ	在宅療養者と家族介護者への看護過程の展開② 事例：人工肛門を造設したアルツハイマー型認知症療養者の看護		
	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病態と生活の関連図を作成できる。</li> <li>・看護上の課題を抽出できる。</li> </ul> (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年05月02日(金)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	西岡		
	テーマ	在宅で療養する難病者の看護		
	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・難病療養者と家族の生活(暮らし)への援助を説明できる。</li> <li>・社会資源の活用と調整を説明できる。</li> </ul> (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年05月02日(金)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	西岡		
	テーマ	在宅で療養する医療的ケア児の看護		
	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケア児と家族介護者への看護が説明できる。</li> </ul> (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年05月09日(金)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	西岡		

テーマ	在宅療養者を介護する高齢の家族介護者の援助 ・老老介護と訪問看護			
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢の家族介護者への援助を説明できる。</li> <li>・老老介護の現状と課題を説明できる。</li> <li>・訪問看護の役割を説明できる。</li> </ul> (予習時間30分、復習時間30分)			
10	年月日(曜日)	令和 7年05月09日(金)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	西岡		
	テーマ	在宅療養者の皮膚・創傷ケアと管理 ・足病変、創傷・皮膚(褥創)のケア		
	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・足病変とフットケアの特徴、援助方法を説明できる。</li> <li>・創傷・皮膚(褥創)ケアの特徴と援助方法を説明できる</li> </ul> (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年05月16日(金)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	小山・西岡		
	テーマ	特別講義1「家族介護者への支援」		
	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族介護者の現状、支援の実践を説明できる。</li> <li>・家族介護者への支援について考察できる。</li> </ul> (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年05月16日(金)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	千田		
	テーマ	在宅看護過程①		
	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅看護過程の特色を説明できる。</li> <li>・在宅看護過程の展開方法を説明できる。</li> </ul> (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年05月23日(金)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	西岡		
	テーマ	在宅療養者と家族介護者への看護過程の展開③(まとめ) 事例：人工肛門を造設したアルツハイマー型認知症療養者の看護		
	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病態と生活の関連図から看護上の課題を抽出するプロセスを説明できる。</li> <li>・療養者と家族の看護上の課題について優先順を考えることができる。</li> <li>・在宅療養生活と社会資源の活用を考えることができる。</li> </ul> (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年05月23日(金)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	千田		
	テーマ	在宅看護過程②		
	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅看護過程を展開できる。</li> <li>・看護上の課題抽出と看護目標を設定できる。</li> </ul> (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 7年05月30日(金)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	齋木・西岡		
	テーマ	特別講義2「在宅医療」		
	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅医療について説明できる。</li> <li>・在宅ケアマネジメントの実際を説明できる。</li> <li>・チーム医療における多職種連携と訪問看護師の役割を考察できる。</li> </ul> (予習時間30分、復習時間30分)		
16	年月日(曜日)	令和 7年05月30日(金)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	西岡		

テーマ	医療管理を必要とする在宅療養者の看護① ・薬物療法と服薬管理 ・化学療法、放射線療法			
授業内容	・薬物療法と服薬管理を説明できる。 ・化学療法と放射線療法を説明できる。 ・療養者と家族への指導内容を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
17	年月日(曜日)	令和 7年06月06日(金)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	西岡		
	テーマ	医療管理を必要とする在宅療養者の看護② ・在宅経管栄養法、在宅経腸栄養法(胃瘻造設者のケア) ・在宅中心静脈栄養法(CVポートの管理とケア)		
	授業内容	・在宅経管栄養法の特徴、管理、援助方法を説明できる。 ・在宅中心静脈栄養法、皮下埋め込み式の特徴、管理、援助方法を説明できる。 ・在宅腹膜透析法の特徴、管理、援助方法を説明できる。 ・療養者と家族への指導内容を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
18	年月日(曜日)	令和 7年06月06日(金)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	西岡		
	テーマ	医療管理を必要とする在宅療養者の看護③ ・在宅酸素療法(HOT療法) ・肺痰ケア		
	授業内容	・在宅酸素療法の特徴、安全管理、援助を説明できる。 ・肺痰ケアの意義、目的、援助を説明できる。 ・療養者と家族への指導内容を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
19	年月日(曜日)	令和 7年06月13日(金)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	白石・西岡		
	テーマ	特別講義3「在宅で療養する療養児と家族の看護」		
	授業内容	・医療的ケアの必要な療養児と家族介護者の現状、支援の実践を説明できる。 ・医療的ケアの必要な療養児と家族介護者への支援について考察できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
20	年月日(曜日)	令和 7年06月13日(金)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	飯島・西岡		
	テーマ	特別講義3「在宅で療養する精神障がい者の看護」		
	授業内容	・精神疾患のある療養者と家族介護者の現状、支援の実践を説明できる。 ・精神疾患のある療養者と家族介護者への支援について考察できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
21	年月日(曜日)	令和 7年06月20日(金)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	西岡		
	テーマ	医療管理を必要とする在宅療養者の看護④ ・在宅人工呼吸療法 ・気管カニューレの管理とケア		
	授業内容	・在宅人工呼吸療法の特徴、安全管理、援助を説明できる。 ・在宅療養者の気管カニューレ管理における技術、援助を説明できる。 ・療養者と家族への指導内容を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
22	年月日(曜日)	令和 7年06月20日(金)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	西岡		
	テーマ	医療管理を必要とする在宅療養者の看護⑤ ・在宅腹膜透析療法(CAPD) ・インスリン自己注射		

授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅腹膜透析の特徴、管理方法、留意点を説明できる。</li> <li>・在宅腹膜透析をおこなうことによる合併症とトラブルを説明できる。</li> <li>・在宅におけるインスリン自己注射の援助について説明できる。</li> <li>・療養者と家族への指導内容を説明できる。</li> </ul> (予習時間30分、復習時間30分)			
23	年月日(曜日)	令和 7年06月27日(金)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	西岡		
	テーマ	医療管理を必要とする在宅療養者の看護⑥ <ul style="list-style-type: none"> <li>・排尿ケア(膀胱留置カテーテル、自己導尿の管理)</li> <li>・ストーマケア</li> </ul>		
	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排尿ケアのトラブルと対応を説明できる。</li> <li>・膀胱留置カテーテル、自己導尿の管理と留意点を説明できる。</li> <li>・ストーマケアの特徴、管理、援助を説明できる。</li> <li>・療養者と家族への指導内容を説明できる。</li> </ul> (予習時間30分、復習時間30分)		
24	年月日(曜日)	令和 7年06月27日(金)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	西岡		
	テーマ	在宅看護の課題と展望 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケアシステムにおける在宅ケアマネジメント</li> <li>・諸外国における在宅ケアシステム</li> </ul>		
	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケアシステムにおける在宅ケアマネジメントを説明できる。</li> <li>・諸外国における在宅ケアシステムを説明できる。</li> <li>・我が国の在宅看護の課題について考察できる。</li> </ul> (予習時間30分、復習時間30分)		
25	年月日(曜日)	令和 7年07月04日(金)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	西岡		
	テーマ	終末期の看護① <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅での看取り</li> <li>・疼痛緩和と緩和ケア</li> </ul>		
	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅での看取りの特徴、援助を説明できる。</li> <li>・在宅療養における疼痛管理の意義、目的、疼痛緩和の方法を説明できる。</li> <li>・療養者と家族への指導内容を説明できる。</li> </ul> (予習時間30分、復習時間30分)		
26	年月日(曜日)	令和 7年07月04日(金)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	西岡		
	テーマ	終末期の看護② <ul style="list-style-type: none"> <li>・ご遺体のケア、死後の処置、エンゼルメイク</li> <li>・グリーフケア</li> </ul>		
	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご遺体のケア、死後の処置、エンゼルメイクの意義、目的、方法を説明できる。</li> <li>・在宅におけるグリーフケアの特徴を説明できる。</li> </ul> (予習時間30分、復習時間30分)		
27	年月日(曜日)	令和 7年07月11日(金)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	小山・西岡		
	テーマ	特別講義5「訪問看護事業所における安全管理と災害時の対応」		
	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問看護事業所における災害対策と対応の実際を説明できる。</li> <li>・訪問看護事業所における災害時の事業継続(BCP)について説明できる。</li> </ul> (予習時間30分、復習時間30分)		
28	年月日(曜日)	令和 7年07月11日(金)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	西岡・川端		
	テーマ	居宅訪問演習②ガイダンス <ul style="list-style-type: none"> <li>・ストーマケア、摘便、死後の処置、エンゼルメイク等(B101実習室)</li> <li>・在宅人工呼吸療法、在宅酸素療法(B402実習室)</li> </ul>		

授業内容	・演習について理解し、演習内容を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
29	年月日(曜日)	令和 7年07月25日(金)	時限	3限
	講義室	B101・B402		
	担当者	西岡・川端		
	テーマ	居宅訪問演習②		
	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅におけるストーマケア、摘便、死後の処置、エンゼルメイク等の援助を実施できる。 (予習時間30分、復習時間30分)</li> </ul>		
30	年月日(曜日)	令和 7年07月25日(金)	時限	4限
	講義室	B101・B402		
	担当者	西岡・川端・千田		
	テーマ	居宅訪問演習② <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅人工呼吸器の管理</li> <li>・在宅酸素供給器の管理</li> </ul>		
	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅人工呼吸器の取り扱いと管理方法を体験できる。</li> <li>・在宅酸素供給器の取り扱いと管理方法を体験できる。</li> <li>・療養者と家族への安全管理に関する指導内容を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)</li> </ul>		
評価方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 前期定期試験期間中に筆記試験(60%)を行う。</li> <li>2. 遅刻・欠席等の出席状況、授業態度、レポート(40%)も評価の対象とする。</li> <li>3. 授業開始30分以降は欠席とする。*遅刻3回で欠席1回とする。</li> <li>4. 不合格者については、定期試験終了後に再試験を1回行う。</li> </ol>			
教科書	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論②在宅療養を支える技術、石田千絵、臺有桂、山下留理子、2025年1月20日発行、第3版 第1刷、メディカ出版。</li> </ol>			
参考書	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護実践のための根拠がわかる在宅看護技術、正野逸子、本田彰子編、メジカルフレンド</li> <li>2. ナーシング・グラフィカ 健康支援と社会保障④医療関係法規、今西春彦、メディカ出版。</li> <li>3. 関連図で理解する在宅看護過程第2版、正野逸子、本田彰子、メジカルフレンド社。</li> <li>4. 強みと弱みからみた在宅看護過程+総合的機能関連図、河野あゆみ、医学書院、2018年、第1版第1刷。</li> </ol>			
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 <b>【西岡】</b> ・オフィスアワー 平日12:10~13:00 ・上記時間帯が難しい場合は、事前にアポイントメントをとること。 <連絡先> E-mail:n_hitomi@saitama-med.ac.jp			
履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅看護学実習(4年次)の履修要件となる必修科目である。</li> <li>・復習、予習により理解を深めること。</li> <li>・レポート作成は、引用・参考文献を用いること。</li> <li>・指示された提出物は期日を厳守すること。</li> </ul>			

講義名	看護研究概論		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（ケアの質向上のための看護学）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	30.00
代表曜日	月曜日	代表時限	2限
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	3年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
看護師/保健師	◎ 千田 みゆき	看護学科教員

担当教員	千田みゆき
科目の目標	看護学および看護実践における研究の重要性を理解し、看護学と科学との関連、看護研究の意義を考える。また、看護研究のための基本的知識、研究方法の基礎を学習する。加えて、研究における倫理的配慮について理解する。さらに、研究の方法論選択などについて学習するために、関連する看護論文の講読、分析、評価を通じて研究疑問、研究方法、および研究論文の組み立てを学習する。
学習の具体的な目標	授業形態：講義と課題を繰り返す中で理解を深める。 1) 看護学および看護実践における研究の意義・重要性および諸科学との関連を説明できる。 2) 看護研究のプロセスが述べられる。 3) 看護研究でよく用いられる研究デザインと、演繹的方法および帰納的方法について説明できる。 4) 看護研究に関連する文献をクリティーク（評価的文献検討）する際の要点を説明できる。 5) 看護研究の研究計画書を作成できる。 6) 看護研究における倫理的配慮の重要性と研究に向かう基本的な姿勢を説明できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月14日(月)	時限	2限
	講義室	C402		
	担当者	千田		
	テーマ	看護における研究の意義と研究のプロセス		
	授業内容	1. 看護学および看護実践における研究の意義を説明できる。 2. 看護研究のプロセスを説明できる。 3. 研究倫理を守ることの必要性を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月21日(月)	時限	2限
	講義室	C402		
	担当者	千田		
	テーマ	研究目的と研究目標		
	授業内容			

1. 看護現象のなかで、自己の関心があることを明確化し、研究課題、研究目的（研究の意義）、研究目標を説明できる。
2. 看護における研究の意義、プロセス、実施可能性を踏まえて自己の関心ある研究課題について記述できる。（課題1）  
（予習時間30分、復習時間30分）

3	年月日(曜日)	令和 7年04月28日(月)	時限	2限
	講義室	C402		
	担当者	千田		
	テーマ	文献検索		
	授業内容	1. 文献の種類、引用の方法、文献リストの書き方を説明できる。 2. コンピューターを使って関心あるキーワードから関連する文献を検索し、検索した文献について、指示に従って検索方法、掲載雑誌・発行年・概要等を記録できる。（課題2） （予習時間30分、復習時間30分）		
4	年月日(曜日)	令和 7年05月12日(月)	時限	2限
	講義室	C402		
	担当者	千田		
	テーマ	研究デザイン		
	授業内容	1. 記述的研究、仮説検証研究、因子探索研究、関係探索研究、関連検証研究を説明できる。 2. 実験研究における実験的操作を説明できる。 3. 課題1で取り上げた研究課題に対し、研究目的・目標にあった適切な研究デザインを選ぶことができる。（課題3） （予習時間30分、復習時間30分）		
5	年月日(曜日)	令和 7年05月19日(月)	時限	2限
	講義室	C402		
	担当者	千田		
	テーマ	演繹的研究(1)		
	授業内容	1. 看護研究でよく用いられる用語を説明できる。 2. 看護研究でよく用いられる演繹的研究方法について説明できる。 3. 相関関係と因果関係を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
6	年月日(曜日)	令和 7年05月26日(月)	時限	2限
	講義室	C402		
	担当者	千田		
	テーマ	演繹的研究(2)		
	授業内容	1. 仮説、変数、データの意味を説明できる。 2. 標本抽出法、データの収集方法（質問紙法、面接法など）について説明できる。 3. 統計的代表的値、検定について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
7	年月日(曜日)	令和 7年06月02日(月)	時限	2限
	講義室	C402		
	担当者	千田		
	テーマ	帰納的研究(1)		
	授業内容	1. 看護研究でよく用いられる帰納的研究方法について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
8	年月日(曜日)	令和 7年06月09日(月)	時限	2限
	講義室	C402		
	担当者	千田		
	テーマ	帰納的研究(2)		
	授業内容	1. 帰納的研究における理論的背景の重要性を説明できる。 2. 帰納的研究の理論的背景と分析視点の関連を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
9	年月日(曜日)	令和 7年06月16日(月)	時限	2限
	講義室	C402		
	担当者	千田		
	テーマ	研究方法の決定		

授業内容	1. 自己の研究課題に対し、適切な研究方法（研究対象、標本抽出法、データ収集方法、分析方法）を選択し、その理由を説明できる。（課題4） （予習時間30分、復習時間30分）			
10	年月日(曜日)	令和 7年06月23日(月)	時限	2限
	講義室	C402		
	担当者	千田		
	テーマ	クリティーク（評価的文献検討）の要点（1）		
	授業内容	1. 看護研究に関連する文献をクリティーク（評価的文献検討）する際の要点を説明できる。 2. 課題2で取り上げた文献についてクリティークできる。（課題5） （予習時間30分、復習時間30分）		
11	年月日(曜日)	令和 7年06月30日(月)	時限	2限
	講義室	C402		
	担当者	千田		
	テーマ	クリティーク（評価的文献検討）の要点（2）		
	授業内容	1. 課題2で取り上げた文献についてクリティークできる。（課題5つづき） （予習時間30分、復習時間30分）		
12	年月日(曜日)	令和 7年07月07日(月)	時限	2限
	講義室	C402		
	担当者	千田		
	テーマ	看護研究における倫理的配慮（1）		
	授業内容	1. 看護研究における倫理的配慮の重要性と具体的な配慮の方法、および研究に向かう基本的な姿勢を説明できる。 2. 日本看護協会の看護研究における倫理指針を読み、要点を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
13	年月日(曜日)	令和 7年07月14日(月)	時限	2限
	講義室	C402		
	担当者	千田		
	テーマ	看護研究における倫理的配慮（2）		
	授業内容	1. 自己の研究課題に応じた必要な倫理的配慮とその具体的方法を研究協力依頼文に記述できる。（課題6） （予習時間30分、復習時間30分）		
14	年月日(曜日)	令和 7年07月21日(月)	時限	2限
	講義室	C402		
	担当者	千田		
	テーマ	研究論文と研究計画書		
	授業内容	1. 研究論文の構成を説明できる。 2. 研究計画書の構成を説明できる。 3. これまでの課題を統合し、自己の研究課題について典型的な書式に沿って研究計画書を作成できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
15	年月日(曜日)	令和 7年07月28日(月)	時限	2限
	講義室	C402		
	担当者	千田		
	テーマ	研究計画書の作成		
	授業内容	1. 自己の研究課題について、文献を引用して研究計画書を作成できる。（課題7） （予習時間30分、復習時間30分）		
評価方法	1. 授業内で提示した課題、出席状況・授業態度を総合して評価する。最終的にはポートフォリオとして、レジュメ、配布資料、自分で収集した文献等、返却された課題および課題7をファイルに綴じて、指定された日時までに提出する。 2. 課題点が60%に満たなかった場合は再提出を求める。 3. 授業開始45分以降は欠席とする。			
教科書	看護における研究第2版、南裕子編、日本看護協会出版会			

参考書	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護研究、D.F. ポーリット他著、医学書院</li> <li>2. 看護研究ハンドブック -ヘルスケアの質改善のために-、ビヴァリー・M. ヘンリー他著、医学書院</li> <li>3. ナースのための質的研究入門 -研究方法から論文作成まで-、イミー・ホロウェイ他著、医学書院</li> <li>4. ナースのための統計学、高木廣文著、医学書院</li> </ol>
連絡先/オフィスアワー	<p>授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。  平日12：10～12：30  上記の時間帯に訪問できない場合はアポイントメントをとること。  Email：chida@saitama-med.ac.jp</p>
履修上の注意、履修要件	<p>授業前日にはレジュメに示した教科書の該当ページを予習し、放課後には学習内容の見直しを行うこと。さらに余暇を利用して図書館での参考書、参考文献の確認などを行い、学習内容の理解を深めることに心掛けること。</p> <p>4年次開講の看護研究セミナーの基礎教科となる。教科書、配布資料は看護研究セミナーでも使用することがある。</p> <p>授業の内容を課題によって積み上げていくので、課題は必ず提出し、欠席をしないこと。また、課題は試験同様に評価対象であるから、提出期限は厳守する。なお、課題にはコメントをつけて返却する。返却された課題の修正後の再提出は随時受け付ける。</p>

講義名	公衆衛生看護学対象別活動論 I		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（ケアの質向上のための看護学）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	30.00
代表曜日	月曜日	代表時限	3限
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/30時間		
必修・選択	看：選/保：必		
配当年次	3年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
看護師/保健師	◎ 櫻井 繭子	看護学科教員

担当教員	櫻井 繭子・野田 万里
科目の目標	公衆衛生看護活動の母子保健、成人保健、高齢者保健における動向と基盤となる基本的な概念、知識およびPDCAサイクルに基づく活動方法について学ぶ。特に地域における母子・思春期、成人期、高齢期の人々に対する健康増進および疾病予防・回復にむけて、発達段階や健康レベルに応じた支援方法、および個人・家族・集団・地域（集団・組織）のセルフケア能力を高める支援方法について理解を深める。
学習の具体的な目標	1) 関連する施策の歴史的・社会的背景を踏まえながら動向について説明できる 2) 母子保健、成人保健、高齢者保健活動の目的、役割、機能を説明できる。 3) 母子保健、成人保健、高齢者保健の対象となる人々の特性を理解し、セルフケア能力を高めるための効果的な支援方法を説明できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月11日(金)	時限	5限
	講義室	C302		
	担当者	櫻井		
	テーマ	成人保健活動(1) 健康づくりと保健医療福祉の動向		
	授業内容	1. 健康づくりの動向について説明できる。 2. 健康日本21(第二次)の評価と健康日本21(第三次)について説明できる。 3. 意思決定支援に関わるヘルスリテラシーと健康格差について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月14日(月)	時限	3限
	講義室	C401		
	担当者	櫻井		
	テーマ	成人保健活動(2) 成人保健医療福祉の動向と成人保健医療福祉施策		
	授業内容	1. 成人保健の理念と歴史的変遷及び成人保健施策について説明できる。 2. 地域・集団の成人期の健康課題、優先順位について説明できる。 3. 成人各期の特徴と健康課題、保健指導について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年04月15日(火)	時限	3限

講義室	C302			
担当者	櫻井			
テーマ	成人保健活動(3) 成人保健における健康課題と支援①			
授業内容	1. 生活習慣病予防について説明できる。 2. 特定健康診査・特定保健指導について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
4	年月日(曜日)	令和 7年04月16日(水)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	櫻井		
	テーマ	成人保健活動(4) 成人保健における健康課題と支援②		
	授業内容	1. 生活習慣病の重症化予防(がん、心血管疾患、糖尿病、慢性腎臓病等)について説明できる。 2. 地域のサポートシステム、社会資源について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年04月21日(月)	時限	5限
	講義室	C401		
	担当者	野田		
	テーマ	母子保健活動(1) 母子保健医療福祉の動向と母子保健施策		
	授業内容	1. 母子保健の理念、歴史的変遷、リプロダクティブヘルス/ライツを説明できる。 2. 母子保健施策と保健師活動、少子化と次世代育成支援施策、健やか親子21を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年04月22日(火)	時限	3限
	講義室	C302		
	担当者	野田		
	テーマ	母子保健活動(2) 女性のライフサイクル各期の健康課題と支援		
	授業内容	1. 思春期、妊娠褥期、育児期の生活と保健指導を説明できる。 2. 成熟期、更年期、老年期の生活と保健指導を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年04月23日(水)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	野田		
	テーマ	母子保健活動(3) 乳幼児期の成長・発達及び生活の特徴、健康課題と支援		
	授業内容	1. 乳幼児の成長・発達とその評価、基本的な生活習慣の確立とその保健指導を説明できる。 2. 疾病予防と予防接種、その保健指導を説明できる。 3. 事故予防、リスクアセスメントとその保健指導を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年04月25日(金)	時限	5限
	講義室	C203		
	担当者	野田		
	テーマ	母子保健活動(4) 母子保健における健康課題と支援		
	授業内容	1. 妊婦健康診査、切れ目のない妊産婦・乳幼児への支援の展開、妊娠・出産包括支援事業を説明できる。 2. 周産期のメンタルヘルス、子どもの心の診療ネットワーク事業、関係者・機関との連携・協働、地域ケアシステムの構築を説明できる。 3. 乳幼児健康診査における課題の早期発見とフォローアップを説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年04月28日(月)	時限	3限
	講義室	C401		
	担当者	野田		
	テーマ	母子保健活動(5) 支援のニーズが高い親子への保健活動①		
	授業内容	1. 未熟児・低出生体重児・多胎児、医療的ケアの必要性の高い児(先天性疾患、心身障害、慢性疾患)、社会生活において困難を抱える児(発達障害)の健康問題と保健指導を説明できる。 2. ひとり親、血縁関係のない親子、特定妊婦の健康課題と保健指導を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年04月30日(水)	時限	3限

講義室	C301			
担当者	野田			
テーマ	母子保健活動(6) 支援のニーズが高い親子への保健活動②			
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 在留外国人、在外日本人、帰国日本人、貧困、ドメスティック・バイオレンス(DV)、ヤングケアラーの健康問題と保健指導を説明できる。</li> <li>2. 虐待防止と早期発見について説明できる。</li> <li>3. 虐待を受けた児と家族の健康課題について説明できる。</li> <li>4. 要保護児童対策協議会、地域における継続した支援について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)</li> </ol>			
11	年月日(曜日)	令和 7年05月12日(月)	時限	3限
	講義室	C401		
	担当者	櫻井		
	テーマ	高齢者保健活動(1) 高齢者保健医療福祉の動向		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高齢者保健の理念とその歴史的変遷を概説できる。</li> <li>2. 高齢者の健康課題と支援を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)</li> </ol>		
12	年月日(曜日)	令和 7年05月12日(月)	時限	5限
	講義室	C401		
	担当者	櫻井		
	テーマ	高齢者保健活動(2) 高齢者地域保健システム①		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高齢者保健福祉施策と保健師活動を説明できる。</li> <li>2. 地域のサポートシステムと社会資源を説明できる。</li> <li>3. 地域包括ケアシステムを説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)</li> </ol>		
13	年月日(曜日)	令和 7年05月20日(火)	時限	4限
	講義室	C302		
	担当者	櫻井		
	テーマ	高齢者保健活動(3) 高齢者地域保健システム②		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 介護保険制度(介護予防)と保健師活動を説明できる。</li> <li>2. 介護保険制度(介護認定、要支援・要介護)と保健師活動を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)</li> </ol>		
14	年月日(曜日)	令和 7年05月21日(水)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	櫻井		
	テーマ	高齢者保健活動(4) 高齢者の生活と保健指導		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高齢者の特徴、健康寿命について説明できる。</li> <li>2. 複数の疾患を抱える高齢者の支援を説明できる。</li> <li>3. 独居、高齢者のみ世帯の支援を説明できる。</li> <li>4. 高齢者の自立した生活を維持するための生活支援を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)</li> </ol>		
15	年月日(曜日)	令和 7年05月23日(金)	時限	5限
	講義室	C302		
	担当者	櫻井		
	テーマ	高齢者保健活動(5) 要支援高齢者と家族への保健活動		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 要支援・要介護高齢者と家族への支援を説明できる。</li> <li>2. 認知症高齢者と家族への支援を説明できる。</li> <li>3. 終末期にある高齢者と家族への支援を説明できる。</li> <li>4. 高齢者虐待とセルフネグレクトへの支援を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)</li> </ol>		
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価の割合は、定期試験90%、授業態度10%とする。</li> <li>・本試験不合格の場合は再試験を1回行う。</li> <li>・定期試験の受験資格は授業時間数2/3以上の出席とする(学生便覧参照)。授業開始後の出席確認を超えての入室は遅刻、授業開始45分以降の入室は欠席とする。</li> <li>*詳細は、授業の際に説明する。</li> </ul>			
教科書	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保健学講座3 公衆衛生看護活動展開論、岸恵美子他編、メヂカルフレンド社。</li> <li>2. 国民衛生の動向、厚生労働統計協会編、厚生労働統計協会。</li> <li>3. 国民の福祉と介護の動向、厚生労働統計協会編、厚生労働統計協会。</li> </ol>			

	※それぞれ最新版とする。
参考書	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保健学講座1 公衆衛生看護学概論、村嶋幸代他編、メヂカルフレンド社。</li> <li>2. 保健学講座2 公衆衛生看護活動支援技術、岸恵美子他編、メヂカルフレンド社。</li> <li>3. 標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動、中谷芳美他著、医学書院。</li> <li>4. 新版保健師業務要覧 井伊久美子他編、日本看護協会出版会。</li> <li>5. 公衆衛生看護学.jp 鳩野洋子・神庭純子編、インターメディカル。</li> <li>6. 乳幼児健診マニュアル、福岡地区小児科医師会乳幼児保健委員会編、医学書院。</li> <li>7. 予防医学のストラテジー、曾田研二・田中平三監訳、医学書院。</li> <li>8. 系統看護学講座 専門分野 母性看護学 [1] 母性看護学概論、森恵美他著、医学書院。</li> <li>9. 新体系看護学全書 母性看護学① 母性看護学概論/ウィメンズヘルスと看護、板倉敦夫他編、メヂカルフレンド社。</li> <li>10. 最新公衆衛生看護学 各論1 宮崎美砂子他著、日本看護協会出版会。</li> <li>11. 公衆衛生看護学 上野昌江他編、中央法規。</li> </ol> <p>※それぞれ最新版とする。</p>
連絡先/オフィスアワー	<p>授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。  ※基本的にメールで事前のアポイントメントをとること。</p> <p>【櫻井】 平日12時10分～12時30分  E-mail : m_sakurai@saitama-med.ac.jp</p> <p>【野田】 平日12時10分～12時30分  E-mail : m_noda@saitama-med.ac.jp</p>
履修上の注意、履修要件	<p>各授業のテーマ、内容を確認し、教科書の該当ページを予習する。授業後には学習内容を復習し理解度を確認する。授業内容や関連領域に興味関心をもち、図書館等で調べ学習内容の理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公衆衛生看護学対象別活動論Ⅰを履修していないと、公衆衛生看護学対象別活動論Ⅱは履修できません。</li> <li>・公衆衛生看護学対象別活動論Ⅰを履修した場合、より理解を深めるために公衆衛生看護学対象別活動論Ⅱを履修することをおすすめします。</li> <li>・保健師活動の基本となる知識と技術です。4年次開講の公衆衛生看護学実習の履修要件となるので、単位がとれない場合は実習を履修できません。</li> </ul>

講義名	公衆衛生看護学対象別活動論Ⅱ		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（ケアの質向上のための看護学）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	30.00
代表曜日	火曜日	代表時限	3限
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/30時間		
必修・選択	看：選択／保：必修		
配当年次	3年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
看護師/保健師	◎ 山路 真佐子	看護学科教員

担当教員	山路真佐子・櫻井 繭子・野田 万里
科目の目標	障害者（児）保健、難病、精神保健における動向と保健対策を学ぶ。また、成人・老年・小児・母性・精神・在宅看護学の知識を統合して、地域における障害者、難病、生活困窮者の人々に対する疾病予防・回復のための、健康レベルに応じた保健活動の方法、及び自殺対策、歯科保健活動について学修する。
学習の具体的な目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 障害者（児）保健医療福祉の動向と障害者（児）の健康課題と支援を説明できる。</li> <li>2) 障害者（児）の保健福祉活動と難病患者の保健医療福祉活動を説明できる。</li> <li>3) 難病保健医療福祉の動向と障害者（児）の健康課題と支援を説明できる。</li> <li>4) 精神保健医療福祉の動向と精神保健の健康課題と支援を説明できる。</li> <li>5) 地域における支援が必要な精神疾患とその支援について説明できる。</li> <li>6) 自殺対策に関する活動を説明できる。</li> <li>7) 生活困窮者に関する保健活動を説明できる。</li> <li>8) 歯科保健活動を説明できる。</li> </ol>

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年05月26日(月)	時限	3限
	講義室	C401		
	担当者	山路		
	テーマ	精神保健活動(1) 精神保健医療福祉の動向		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 精神保健の理念、歴史的変遷を説明できる。</li> <li>2. 精神保健医療福祉施策、及び精神保健医療福祉における人権擁護について説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年05月27日(火)	時限	3限
	講義室	C302		
	担当者	山路		
	テーマ	精神保健活動(2) 精神保健の健康課題と支援①		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 心の健康づくりと保健活動について説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年05月28日(水)	時限	3限

講義室	C301			
担当者	山路			
テーマ	精神保健活動(3) 精神保健の健康課題と支援②			
授業内容	1. 精神障害者と家族の日常生活を説明できる。 2. 精神障害者の健康課題と支援を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
4	年月日(曜日)	令和 7年06月02日(月)	時限	3限
	講義室	C401		
	担当者	山路		
	テーマ	精神精神保健活動(4) 地域における支援が必要な精神疾患と支援の特徴①		
	授業内容	1. 地域における支援が必要な精神疾患と支援の特徴について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年06月02日(月)	時限	5限
	講義室	C401		
	担当者	山路		
	テーマ	精神保健活動(5) 地域における支援が必要な精神疾患と支援の特徴②		
	授業内容	1. 地域における支援が必要な精神疾患と支援の特徴について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年06月03日(火)	時限	3限
	講義室	C302		
	担当者	山路		
	テーマ	自殺対策		
	授業内容	1. 自殺予防に関する保健活動について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年06月03日(火)	時限	4限
	講義室	C302		
	担当者	櫻井		
	テーマ	障害者(児)保健福祉活動(1) 障害者(児)の保健医療福祉の動向		
	授業内容	1. 障害者(児)保健の理念と歴史的変遷を説明できる。 2. 障害者(児)のとらえ方を説明できる。 3. 共生社会を説明できる。 4. 人権擁護と虐待予防を説明できる。 5. 住環境、地域環境整備について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年06月04日(水)	時限	3限
	講義室	C301		
	担当者	櫻井		
	テーマ	障害者(児)保健福祉活動(2) 障害者(児)の自立支援		
	授業内容	1. 障害者(児)保健福祉施策と保健師活動を説明できる。 2. 障害者(児)の健康課題と支援を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年06月09日(月)	時限	3限
	講義室	C401		
	担当者	櫻井		
	テーマ	障害者(児)保健福祉活動(3) 障害者(児)と家族への保健指導と権利擁護		
	授業内容	1. 重複障害者(児)と家族への保健指導を説明できる。 2. 合併症をもつ障害者(児)と家族への保健指導を説明できる。 3. 障害福祉サービスの活用調整と関係機関との連携について説明できる。 4. 共通の課題をもつ集団への支援と地域ケアシステムの構築について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年06月11日(水)	時限	3限
	講義室	C301		
	担当者	櫻井		

テーマ	難病保健活動（１）難病保健医療福祉の動向と難病対策			
授業内容	1. 難病保健の基本理念と歴史の変遷を説明できる。 2. 難病保健施策と保健師活動について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
11	年月日(曜日)	令和 7年06月11日(水)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	櫻井		
	テーマ	難病保健活動（２）難病患者の生活と保健活動①		
	授業内容	1. 難病患者とその家族の特徴について説明できる。 2. 難病患者の健康課題と支援を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年06月12日(木)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	櫻井		
	テーマ	難病保健活動（３）難病患者の生活と保健活動②		
	授業内容	1. 在宅療養難病患者と家族への支援を説明できる。 2. 医療依存度の高い難病患者・合併症をもつ支援を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年06月16日(月)	時限	3限
	講義室	C401		
	担当者	櫻井		
	テーマ	難病保健活動（４）難病患者の生活と保健活動③		
	授業内容	1. 支援体制が確立されていない疾患をもつ者（児）への支援を説明できる。 2. 難病対策にかかわる住環境、地域環境整備について説明できる。 3. 難病患者にかかわる実際と社会的課題について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年06月23日(月)	時限	3限
	講義室	C401		
	担当者	櫻井		
	テーマ	生活困窮者に関する保健活動		
	授業内容	1. 生活困窮者に関する保健活動を説明できる。 2. 生活困窮者を取り巻く現状と社会的課題について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 7年07月01日(火)	時限	3限
	講義室	C302		
	担当者	野田		
	テーマ	歯科口腔保健活動		
	授業内容	1. 歯科口腔保健の理念、歴史の変遷を説明できる。 2. 歯科口腔の健康の保持とライフサイクル・健康レベルに応じた歯科保健対策を説明できる。 3. 歯科保健活動及び保健師の役割を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法	定期試験(95%)、授業参加態度(5%)を総合的に判断して評価する。 授業開始45分以上の遅刻は欠席とする。 評価が不合格の場合、再試験を1回行う。 * 詳細は、授業の際に説明する。			
教科書	1. 保健学講座3 公衆衛生看護活動展開論 第1版、岸恵美子・村嶋幸代編、メヂカルフレンド社、2022。 2. 国民衛生の動向2024/2025、厚生労働統計協会編、厚生労働統計協会。 3. 国民の福祉と介護の動向2024/2025、厚生労働統計協会編、厚生労働統計協会。			
参考書	1. 保健学講座1 公衆衛生看護学概論 第1版、村嶋幸代・岸恵美子編、メヂカルフレンド社、2022。 2. 標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動 第5版、中谷芳美他著、医学書院、2024。 3. 公衆衛生看護学jp 第6版、鳩野洋子他編、インターメディカル、2024。 4. 公衆衛生看護学 第3版、上野昌江他編、中央法規、2020。  ○ その他の参考書：授業で紹介する。			
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【山路】 月・火曜日16時30分～17時30分 E-mail : yamaji@saitama-med.ac.jp			

	<p>【櫻井】 平日12時10分～12時30分 E-mail : m_sakurai@saitama-med. ac. jp</p> <p>【野田】 平日12時10分～12時30分 E-mail : m_noda@saitama-med. ac. jp</p> <p>【山路】 【櫻井】 【野田】 共に、上記の時間以外はメールにて事前予約をとることを要する。</p>
履修上の注意、履修要件	<p>授業前日には教科書の該当部分を予習しておくこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公衆衛生看護学対象別活動論Ⅰを履修していないと、公衆衛生看護学対象別活動論Ⅱは履修できません。</li> <li>・ 保健師活動の基本となる知識と技術です。4年次開講の公衆衛生看護学実習の履修要件となるので、単位がとれない場合は実習を履修できません。</li> </ul>

講義名	公衆衛生看護学対象別活動論Ⅲ		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（ケアの質向上のための看護学）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	1	時間	30.00
代表曜日	木曜日	代表時限	3限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/30時間		
必修・選択	看：選択／保：必修		
配当年次	3年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
看護師/保健師	◎ 山路 真佐子	看護学科教員

担当教員	山路真佐子・櫻井 繭子・野田 万里・内田 久子
科目の目標	地域における健康危機管理の定義と健康危機管理体制を学ぶ。成人・老年・小児・母性・精神・在宅看護学の知識を統合して、地域における感染症の人々に対する疾病予防・回復のための健康レベルに応じた保健活動の方法、及び平時からの健康危機管理・災害時の保健活動の方法について、事例を用いた演習を通して健康課題・健康ニーズの把握、活動計画の立案、実施、活動評価を学ぶ。
学習の具体的な目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 健康危機管理の定義と健康危機管理体制が説明できる。</li> <li>2) 感染症保健活動の動向と予防施策を理解し、予防活動と保健師の役割を説明できる。</li> <li>3) 感染症の疾病管理と保健活動を説明できる。</li> <li>4) 災害にかかわる施策の動向と災害各期の特徴を説明できる。</li> <li>5) 災害時の健康課題・健康ニーズと保健活動を説明できる。</li> </ol>

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年06月26日(木)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	櫻井		
	テーマ	健康危機管理 (1) 健康危機管理の定義と健康危機管理体制／災害保健活動の基本と災害支援制度・システム		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 健康危機管理の定義と要因、リスクマネジメント、健康危機管理の要素を説明できる。</li> <li>2. 災害の定義・分類と災害時の保健活動の目的を説明できる。</li> <li>3. 災害保健活動の基本を説明できる。</li> <li>4. 災害支援の関係法規、災害支援の制度と災害時健康危機支援システムを説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年06月30日(月)	時限	3限
	講義室	C401		
	担当者	山路		
	テーマ	感染症の保健活動 (1) 感染症保健活動の動向と予防施策・保健師活動		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 感染症保健活動の理念、歴史的変遷を説明できる。</li> <li>2. 感染症対策と支援について説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		

3	年月日(曜日)	令和 7年07月03日(木)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	山路		
	テーマ	感染症の保健活動(2) 感染症の疾病管理と保健活動①		
	授業内容	1. 一類・二類・三類・四類・五類感染症等の疾病管理について説明できる。 2. 結核発生時の保健活動及び保健師の役割について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年07月10日(木)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	山路		
	テーマ	感染症の保健活動(3) 感染症の疾病管理と保健活動②		
	授業内容	1. 結核の保健活動及び保健師の役割について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年07月14日(月)	時限	3限
	講義室	C401		
	担当者	山路・内田		
	テーマ	感染症の保健活動(4) 事例による感染症に関する保健活動の展開①		
	授業内容	1. 紙上事例(結核)によるグループワークを通じて、感染症発生時及び感染症予防の保健活動計画が立案できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年07月22日(火)	時限	4限
	講義室	C302		
	担当者	内田		
	テーマ	感染症の保健活動(5) 感染症の疾病管理と保健活動③		
	授業内容	1. HIV感染症/AIDS、性感染症の保健活動及び保健師の役割について説明できる。 2. 新興・再興感染症について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年07月23日(水)	時限	3限
	講義室	C301		
	担当者	内田		
	テーマ	感染症の保健活動(6) 感染症の疾病管理と保健活動④		
	授業内容	1. 腸管出血性大腸菌感染症、ウイルス性肝炎、食中毒などの感染症対策及び保健指導について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年07月23日(水)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	山路・内田		
	テーマ	感染症の保健活動(7) 事例による感染症に関する保健活動の展開②		
	授業内容	1. 紙上事例(食中毒)によるグループワークを通じて、感染症発生時及び感染症予防の保健活動計画が立案できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年07月24日(木)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	内田・山路		
	テーマ	感染症の保健活動(8) 事例による感染症に関する保健活動の展開③		
	授業内容	1. グループワークで行った感染症発生時、感染症予防の保健活動の展開について発表できる。 2. 感染症に関する保健活動における保健師の役割について考察できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年07月28日(月)	時限	3限
	講義室	C401		
	担当者	櫻井		
	テーマ	災害に対応した保健活動(1) 災害各期の保健活動の展開		

授業内容	1. 平常時の保健活動と減災・防災対策を説明できる。 2. 災害直後から応急対策期の保健活動を説明できる。 3. 災害復旧・復興対策期の保健活動を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
11	年月日(曜日)	令和 7年07月29日(火)	時限	3限
	講義室	C302		
	担当者	櫻井・野田		
	テーマ	災害に対応した保健活動(2) 様々な災害に対する支援対策①		
	授業内容	1. 「避難所運営ゲーム H(hinanzyo避難所)、U(unei運営)、G(gameゲーム)」を用いて避難所運営に関わる多様な状況を疑似的に体験し、実践的な視点を説明できる。 2. HUGの体験について、本単元で既習済みの平常時からの保健活動の意義や、避難所における住民への生活支援の流れおよび根拠を用いて説明できる。 3. 避難所における健康課題および生活支援の現状から保健師の役割について考察できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年07月29日(火)	時限	4限
	講義室	C302		
	担当者	櫻井・野田		
	テーマ	災害に対応した保健活動(3) 様々な災害に対する支援対策②		
	授業内容	1. 「避難所運営ゲーム H(hinanzyo避難所)、U(unei運営)、G(gameゲーム)」を用いて避難所運営に関わる多様な状況を疑似的に体験し、実践的な視点を説明できる。 2. HUGの体験について、本単元で既習済みの平常時からの保健活動の意義や、避難所における住民への生活支援の流れおよび根拠を用いて説明できる。 3. 避難所における健康課題および生活支援の現状から保健師の役割について考察できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年07月30日(水)	時限	3限
	講義室	C301		
	担当者	櫻井・野田		
	テーマ	災害に対応した保健活動(4) 事例による災害時保健活動の展開①平常時の保健活動計画の立案		
	授業内容	1. 事例を用いて平常時の保健活動計画を立案できる(グループワーク)。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年07月30日(水)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	櫻井・野田		
	テーマ	災害に対応した保健活動(5) 事例による災害時保健活動の展開②避難所における保健活動計画の立案		
	授業内容	1. 事例を用いて避難所生活における保健活動計画を立案できる(グループワーク)。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 7年07月31日(木)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	櫻井・野田		
	テーマ	災害に対応した保健活動(6) 保健活動計画の発表		
	授業内容	1. 平常時および避難所における保健師活動について共有し考察できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>評価の割合は、定期試験80%、授業参加態度・課題20%とする。</li> <li>本試験不合格の場合は再試験を1回行う。</li> <li>授業開始後の出席確認以降の入室は遅刻、授業開始45分以降の入室は欠席とする。</li> </ul> * 詳細は、授業の際に説明する。			
教科書	<ol style="list-style-type: none"> <li>保健学講座3 公衆衛生看護活動展開論 第1版、岸恵美子他編、メヂカルフレンド社、2022.</li> <li>保健学講座1 公衆衛生看護学概論 第1版、村嶋幸代他編、メヂカルフレンド社、2022.</li> <li>国民衛生の動向2024/2025、厚生労働統計協会編、厚生労働統計協会.</li> <li>国民の福祉と介護の動向2024/2025、厚生労働統計協会編、厚生労働統計協会.</li> </ol>			

参考書	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保健学講座2 公衆衛生看護活動支援技術 第1版、岸恵美子他編、メヂカルフレンド社、2022.</li> <li>2. 標準保健師講座1 公衆衛生看護学概論 第6版、標美奈子他著、医学書院、2022.</li> <li>3. 標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動 第4版、中谷芳美他著、医学書院、2018.</li> <li>4. 公衆衛生看護学jp 第6版、鳩野洋子他編、インターメディカル、2024.</li> <li>5. 公衆衛生看護学 第3版、上野昌江他編、中央法規、2020.</li> <li>6. 令和4年改訂版 感染症法に基づく結核の接触者健康診断の手引きとその解説、加藤誠也監修、公益財団法人結核予防会、2022.</li> <li>7. 感染症法における結核対策 保健所・医療機関等における対策実施の手引き 平成30年改訂版、森亨監修、公益財団法人結核予防会、2018.</li> </ol>
連絡先/オフィスアワー	<p>授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。  ※基本的にメールで事前のアポイントメントをとること。</p> <p>【山路】 月・火曜日16時30分～17時30分  E-mail : yamaji@saitama-med. ac. jp</p> <p>【櫻井】 平日12時10分～12時30分  E-mail : m_sakurai@saitama-med. ac. jp</p> <p>【野田】 平日12時10分～12時30分  E-mail : m_noda@saitama-med. ac. jp</p> <p>【内田】 水・金曜日12時10分～13時  E-mail : h_uchi@saitama-med. ac. jp</p>
履修上の注意、履修要件	<p>各授業のテーマ、内容を確認し、教科書の該当ページを予習する。授業後には学習内容を復習し理解度を確認する。授業内容や関連領域に興味関心を持ち、図書館等で調べ学習内容の理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公衆衛生看護学対象別活動論Ⅰ・Ⅱを履修していないと、公衆衛生看護学対象別活動論Ⅲは履修できません。</li> <li>・保健師活動の基本となる知識と技術です。4年次開講の公衆衛生看護学実習の履修要件となるので、単位がとれない場合は実習を履修できません。</li> </ul>

講義名	公衆衛生看護学活動展開論 I		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（ケアの質向上のための看護学）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	1	時間	15.00
代表曜日	火曜日	代表時限	4限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/15時間		
必修・選択	看：選択／保：必修		
配当年次	3年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ 菊池 チトセ	非常勤教員（大学外部）

担当教員	菊池チトセ・川端 泰子
科目の目標	成人・老年・小児・母性・精神・在宅看護学の知識を統合して、個人・家族・地域（集団・組織）に働きかける家庭訪問、健康診査、健康相談の目的と展開方法、評価について学修する。また、セルフヘルプグループ等の地域組織活動の支援と組織化、保健医療福祉における地域ケアシステムづくりの目的と展開方法、評価について学ぶ。さらに、PDCAサイクルに基づく地域保健活動の基本と地域保健活動、地区活動について学ぶ。それぞれの保健活動における保健師の役割について学修する。
学習の具体的な目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 公衆衛生看護の対象と支援技法について説明できる。</li> <li>2) 健康診査・検診の目的、対象、方法を説明できる。</li> <li>3) 健康相談の目的、対象、方法を説明できる。</li> <li>4) 家庭訪問の目的、対象、方法を説明できる。</li> <li>5) グループ支援と地域組織活動を説明できる。</li> <li>6) 地域ケアシステムについて説明できる。</li> <li>7) 地域保健活動・地区活動の目的とPDAサイクルに基づく活動方法について説明できる。</li> </ol>

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年06月17日(火)	時限	3限
	講義室	C302		
	担当者	菊池		
	テーマ	公衆衛生看護活動における対人支援の基本 ケアマネジメントの特徴と方法		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 対人支援の目的、過程と特徴について説明できる。</li> <li>2. 対人支援の技術を説明できる。</li> <li>3. ケアコーディネーション、サービスの統合、ケアの継続性を説明できる。</li> <li>4. ケースマネジメントの展開（ニーズ把握、対象の選定、方法の選択、計画、実施、評価）を説明できる。</li> <li>5. ニーズの多様化への対応、フォーマルサービスとインフォーマルサービスの活用、新たなサービス・ケアの創造、ケースマネジメント会議を説明できる。</li> <li>6. 地区活動への反映、事業化、施策化について説明できる。</li> </ol> （予習時間30分、復習時間30分）		
2	年月日(曜日)	令和 7年06月17日(火)	時限	4限
	講義室	C302		

担当者	川端			
テーマ	健康診査・検診の特徴と方法 健康相談の目的と方法			
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>健康診査、検診の目的、対象、種類と特性を説明できる。</li> <li>スクリーニング基準、精度管理を説明できる。</li> <li>健康診査・検診の事業計画、実施準備、実践、評価を説明できる。</li> <li>受診勧奨と未受診者の潜在ニーズの検討について説明できる。</li> <li>精密検査のフォローアップと体制づくりについて説明できる。</li> <li>健康相談の目的、健康相談の契機、地域の健康特性を活かした企画を説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)			
3	年月日(曜日)	令和 7年06月25日(水)	時限	3限
	講義室	C301		
	担当者	菊池		
	テーマ	訪問 (1) 家族を単位とした対象理解と健康課題への支援、訪問の目的		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>家族の形態・機能・役割の変遷を説明できる。</li> <li>家族の発達段階と課題を説明できる。</li> <li>健康課題(顕在・潜在)の明確化と予測、優先順位の決定について説明できる。</li> <li>家族アセスメント、家族支援計画、支援方法、評価を説明できる。</li> <li>家庭訪問の目的、対象の特性を説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年06月25日(水)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	菊池		
	テーマ	訪問 (2) 訪問の特徴と方法		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>生活・環境・家族・社会的背景の把握と介入について説明できる。</li> <li>予防的訪問、危機的介入、訪問の緊急性について説明できる。</li> <li>信頼関係・支援関係の構築、キーパーソンの活用、グループや社会資源の照会を説明できる。</li> <li>関係機関・職種との連携、ネットワーク構築への支援、地区活動への反映について説明できる。</li> <li>訪問の展開(情報収集、問題把握、訪問指導計画立案、訪問基準・実施、訪問記録と報告、評価)を説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年07月01日(火)	時限	4限
	講義室	C302		
	担当者	菊池		
	テーマ	グループ支援		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>グループの種類(地域集団、サポートグループ、セルフヘルプグループ、自主グループ、ピアグループ)、発達段階、発達課題を説明できる。</li> <li>グループの理解のための理論・モデルを説明できる。</li> <li>グループ支援の意義(主体性の確立、自己洞察の深まり、エンパワメント等)を説明できる。</li> <li>グループ支援の技術(コミュニティ・エンパワメント、グループダイナミクス、グループワーク、ファシリテーター技術)を説明できる。</li> <li>グループ支援のアプローチ(治療的・予防的アプローチ、相互作用アプローチ)を説明できる。</li> <li>グループ支援の展開を説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年07月16日(水)	時限	3限
	講義室	C301		
	担当者	菊池		
	テーマ	地域組織の育成・支援		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>地域組織の構造と育成・支援、組織化について説明できる。</li> <li>地域組織の育成・支援の意義を説明できる。</li> <li>地域組織の育成・支援の対象を説明できる。</li> <li>地域組織の育成・支援の目的と過程を説明できる。</li> </ol> (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年07月16日(水)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	菊池		
	テーマ	地域ケアシステムの構築		
	授業内容			

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域ケアシステムの概念、発展過程、ケアの連続性と継続性を説明できる。</li> <li>2. 地域ケアシステム構築の方法（共通認識と目標の設定、合意形成）について説明できる。</li> <li>3. 連携する関係者・機関の役割と機能、関係者・機関との連携・協働、パートナーシップ）を説明できる。</li> <li>4. 地域ケアシステム構築を目指した連携のための会議の企画・運営を説明できる。</li> <li>5. 地域ケアシステムの評価について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）</li> </ol>				
8	年月日(曜日)	令和 7年07月17日(木)	時限	3限
	講義室	C301		
	担当者	菊池		
	テーマ	地域保健活動、地区活動		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域・地区の定義と活動範囲を説明できる。</li> <li>2. 地域保健活動・地区活動の目的（地域包括ケアシステムの構築、コミュニティ・エン・パワメント、ソーシャル・キャピタルの醸成と活用）を説明できる。</li> <li>3. PDCAサイクルに基づく地域保健活動・地区活動の過程を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）</li> </ol>		
評価方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 定期試験および小テストの成績（90%）と出席状況・授業参加態度（10%）を総合的に評価する。45分以上の遅刻は欠席とする。</li> <li>2. 総合評価が不合格の場合、再試験を1回行う。 * 詳細は、第1回授業の際に説明する。</li> </ol>			
教科書	1. 保健学講座2 公衆衛生看護支援技術, 岸恵美子他編, メヂカルフレンド社, 2022.			
参考書	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 新版保健師業務要覧第3版2024年版, 井伊久美子他編, 日本看護協会出版会, 2024.</li> <li>2. 保健学講座1 公衆衛生看護学概論, 村嶋幸代他編, メヂカルフレンド社, 2022.</li> <li>3. 標準保健師講座1 公衆衛生看護学概論 第6版, 標美奈子他, 医学書院, 2022.</li> <li>4. 標準保健師講座2 公衆衛生看護技術 第4版, 中村裕美子他, 医学書院, 2023.</li> <li>5. 公衆衛生看護学 jp. 第6版データ更新版, 荒賀直子 後閑容子編, インターメディカル, 2024.</li> <li>6. 公衆衛生看護学 第3版, 上野昌江 和泉京子編, 中央法規, 2020.</li> <li>7. 公衆衛生看護学テキスト第2巻 公衆衛生看護の方法と技術 第2版, 佐伯和子編, 医歯薬出版株式会社, 2022.</li> <li>8. 公衆衛生看護学テキスト第3巻 公衆衛生看護活動I 第2版, 岡本玲子他編, 医歯薬出版株式会社, 2022.</li> <li>9. 最新公衆衛生看護学第3版 総論2024年版, 宮崎美砂子他編, 日本看護協会出版会, 2024.</li> <li>10. コーチングで保健指導が変わる!, 柳澤厚生編, 医学書院, 2008.</li> <li>11. 「グループ」という方法, 武井麻子, 医学書院, 2002.</li> <li>12. 地域保健スタッフのための「住民グループ」のつくり方・育て方, 星旦二 栗盛須雅子編, 医学書院, 2010.</li> <li>13. 保健師必携こう書けばわかる! 保健師記録, 長江弘子他, 医学書院, 2004.</li> <li>14. 公衆衛生がみえる 2024-2025, 医療情報科学研究所編, メディックメディア, 2024.</li> </ol>			
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 講義の後に、教室で受け付ける			
履修上の注意、履修要件	<p>○公衆衛生看護学活動展開論Ⅰを履修していないと公衆衛生看護学活動展開論Ⅱは履修できません。</p> <p>○授業前日には教科書の該当ページを予習し、授業後には学習内容の見直しを行うこと。さらに余暇を利用して図書館での参考書、参考文献の確認などを行い、学習内容の理解を深めることに心掛けること。</p> <p>○保健師活動の基本となる知識と技術です。4年次開講の公衆衛生看護学実習の履修要件となるので、単位が取れない場合は公衆衛生看護学実習を履修できません。</p>			

講義名	公衆衛生看護学活動展開論Ⅱ		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（ケアの質向上のための看護学）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	1	時間	30.00
代表曜日	水曜日	代表時限	3限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/30時間		
必修・選択	看：選/保：必		
配当年次	3年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
看護師/保健師	◎ 櫻井 繭子	看護学科教員

担当教員	櫻井 繭子・山路真佐子・野田 万里・内田 久子・川端 泰子
科目の目標	成人・老年・小児・母性・精神・在宅看護学の知識を統合し、個人・家族・地域（集団・組織）に働きかける家庭訪問、健康診査、健康相談の目的と展開方法について、ロールプレイングや紙上事例を用いた演習を通して、健康課題・健康ニーズの把握から活動計画の立案・実施・活動評価までの実際を具体的に学ぶ。また、継続支援の必要な紙上事例を用いた演習を通して保健師の継続支援の実際と多職種・多機関連携の必要性について学ぶ。
学習の具体的な目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 健康相談の計画と実践、評価、事後フォローアップを説明できる。</li> <li>2) 健康相談の支援技術と保健師の役割について考察できる。</li> <li>3) 訪問の訪問指導計画、訪問準備、実践、評価を説明できる。</li> <li>4) 新生児訪問における家庭訪問の指導計画を立案できる。</li> <li>5) 訪問時の支援技術と保健師の役割について考察できる。</li> <li>6) 継続訪問や社会資源の活用等による継続支援計画を立案できる。</li> <li>7) 継続支援における保健師の役割と多職種・多機関の必要性について考察できる。</li> </ol>

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年06月17日(火)	時限	5限
	講義室	C301		
	担当者	川端・櫻井		
	テーマ	健康相談(1) 健康相談の実際 事例地域における健康相談会の企画（ペーパーペイシエント）		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域の健康特性を活かした健康診査・検診、健康相談の企画と健康相談の指導計画について説明できる。</li> <li>2. 健康相談場面の設定、場の工夫や配慮、評価と事後フォローアップを説明できる。</li> <li>3. 事例地域における健康相談会の企画を立案できる（提出）。</li> </ol> （予習時間30分、復習時間30分）		
2	年月日(曜日)	令和 7年06月18日(水)	時限	1限
	講義室	C203		
	担当者	川端		
	テーマ	健康相談(2) 健康相談演習① 事例についての健康相談における指導計画の立案（ペーパーペイシエント）		

授業内容		1. 健康相談を行う事例についてアセスメントをし、指導計画を立案できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年06月24日(火)	時限	3限
	講義室	B101		
	担当者	川端・内田		
	テーマ	健康相談(3) 健康相談演習② (ロールプレイング)		
	授業内容	1. 立案した指導計画を基に健康相談のロールプレイングを行うことができる。 (実習室1) (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年06月24日(火)	時限	4限
	講義室	B101		
	担当者	川端・内田		
	テーマ	健康相談(4) 健康相談演習③ 健康相談の評価と記録		
	授業内容	1. ロールプレイングを行った健康相談の記録をし評価することができる。 2. 健康相談時の面接技術、健康相談における保健師の支援技術と役割を考察することができる。 (実習室1) (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年07月02日(水)	時限	3限
	講義室	C301		
	担当者	野田		
	テーマ	家庭訪問(1) 訪問支援の実際①		
	授業内容	1. 事例を通して、情報の整理と問題把握、関係機関・職種との連携、社会資源の活用、地区活動への反映について考察できる(ペーパーベシエント)。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年07月02日(水)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	野田		
	テーマ	家庭訪問(2) 訪問支援の実際②		
	授業内容	1. 訪問の指導計画の立案について説明できる。 2. 訪問準備、実践、評価を説明できる。 3. 家庭訪問後の記録・報告を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年07月03日(木)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	野田		
	テーマ	家庭訪問(3) 新生児訪問演習① 家庭訪問計画の立案		
	授業内容	1. 新生児訪問に必要な知識・技術を説明できる。 2. 新生児訪問における家庭訪問の指導計画の立案ができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年07月08日(火)	時限	3限
	講義室	B101		
	担当者	野田・山路・内田・川端		
	テーマ	家庭訪問(4) 新生児訪問演習② 計測技術 等		
	授業内容	1. 乳児計測の技術を用いて、家庭訪問場面での乳児計測ができる。 (実習室1) (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年07月08日(火)	時限	4限
	講義室	B101		
	担当者	野田・山路・内田・川端		
	テーマ	家庭訪問(5) 新生児訪問演習③ (ロールプレイング)		
	授業内容	1. 新生児訪問の場面のロールプレイングができる。 (実習室1) (予習時間30分、復習時間30分)		

10	年月日(曜日)	令和 7年07月09日(水)	時限	3限
	講義室	B101		
	担当者	野田・山路・内田・川端		
	テーマ	家庭訪問(6) 新生児訪問演習④(ロールプレイング)		
	授業内容	1. 新生児訪問の場面のロールプレイングができる。 (実習室1) (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年07月09日(水)	時限	4限
	講義室	B101		
	担当者	野田・山路・内田・川端		
	テーマ	家庭訪問(7) 新生児訪問演習⑤(訪問の評価と訪問記録の記載)		
	授業内容	1. 新生児訪問の場面を振り返り訪問記録を作成し評価できる。 2. 家庭訪問時の面接技術、家庭訪問における保健師の支援技術と役割を考察できる。 (実習室1) (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年07月15日(火)	時限	3限
	講義室	C302		
	担当者	櫻井		
	テーマ	個人・家族への支援の展開演習 ① 継続支援が必要な事例についての支援計画の立案(ペーパーペイシエント)		
	授業内容	1. 紙上事例について、情報の整理ができ、継続支援の必要性を説明できる。 2. 支援目標が立案できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年07月15日(火)	時限	4限
	講義室	C302		
	担当者	櫻井		
	テーマ	個人・家族への支援の展開演習 ② 継続支援が必要な事例についての支援計画の立案(ペーパーペイシエント)		
	授業内容	1. 支援目標に沿った具体的な支援計画が立案できる。 2. 関係機関、関係職種との連携の必要性を考察できる。 3. 初回家庭訪問の指導計画が立案できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年07月21日(月)	時限	3限
	講義室	C401		
	担当者	櫻井		
	テーマ	個人・家族への支援の展開 演習③ 継続支援が必要な事例についての支援計画の立案(ペーパーペイシエント)		
	授業内容	1. 紙面上の3か月後の情報をアセスメントし、継続支援について支援方法を検討し支援計画を立案できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 7年07月22日(火)	時限	3限
	講義室	C302		
	担当者	櫻井		
	テーマ	個人・家族への支援の展開 演習④ 立案した継続支援計画の発表・まとめ		
	授業内容	1. 支援目標、具体的な支援計画、初回訪問計画、継続支援計画について発表できる。 2. 継続支援の目的と支援方法、保健師の役割と多職種連携の必要性について考察できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法	1. 定期試験(60%)、課題、演習レポート、発表及び出席状況・演習参加態度(40%)を総合的に評価する。ただし、定期試験が50点以下の場合には再試験とする。45分以上の遅刻は欠席とする。 2. 総合評価が不合格の場合、再試験を1回行う。 * 詳細は、第1回授業の際に説明する。			
教科書	1. 保健学講座2 公衆衛生看護支援技術、岸恵美子他編、メヂカルフレンド社、2022.			
参考書	1. 新版保健師業務要覧 第4版 2023年版、井伊久美子他編、日本看護協会出版会、2023. 2. 保健学講座1 公衆衛生看護学概論、村嶋幸代他編、メヂカルフレンド社、2022. 3. 標準保健師講座1 公衆衛生看護学概論 第6版、標美奈子他、医学書院、2022.			

	<p>4. 標準保健師講座2 公衆衛生看護技術第5版, 中村裕美子他, 医学書院, 2023.</p> <p>5. 公衆衛生看護学 第3版, 上野昌江 和泉京子編, 中央法規, 2021.</p> <p>6. 公衆衛生看護学jp. 第5版 データ更新版, 荒賀直子 後閑容子他編, インターメディカル, 2022.</p> <p>7. 公衆衛生看護学テキスト第2巻 公衆衛生看護の方法と技術, 佐伯和子他編, 医歯薬出版株式会社, 2022.</p> <p>8. 公衆衛生看護学テキスト第3巻 公衆衛生看護活動I 第2版, 岡本玲子他編, 医歯薬出版株式会社, 2022.</p> <p>9. 最新公衆衛生看護学第3版 総論2023年版, 宮崎美砂子他編, 日本看護協会出版会, 2023.</p> <p>10. コーチングで保健指導が変わる!, 柳澤厚生編, 医学書院, 2008.</p> <p>11. 保健師必携こう書けばわかる! 保健師記録, 長江弘子他, 医学書院, 2004.</p>
連絡先/オフィスアワー	<p>授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。</p> <p>【櫻井】 月曜日・木曜日・金曜日 13:10~17:00 上記時間帯以外で面接を希望する者は、メールにてアポイントメントをとること。 E-mail: 櫻井 m_sakurai@saitama-med.ac.jp</p>
履修上の注意、履修要件	<p>○公衆衛生看護学活動展開論Ⅰを履修していないと公衆衛生看護学活動展開論Ⅱは履修できません。</p> <p>○授業前日には演習要項の該当部分を予習し、教科書で演習内容の意味を理解しておくこと。また、演習後にはレポート作成のための文献検索や教科書での確認を怠らないこと。レポートの提出は、指定された期日を厳守してください。</p> <p>○保健師活動の基本となる知識と技術です。4年次開講の公衆衛生看護学実習の履修要件となるので、単位が取れない場合は公衆衛生看護学実習を履修できません。</p> <p>○演習が多い科目です。履修をすると決めたら最後まで出席してください。</p>

講義名	健康教育論 I		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（ケアの質向上のための看護学）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	1	時間	15.00
代表曜日	火曜日	代表時限	4限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/15時間		
必修・選択	看：選択／保：必修		
配当年次	3年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
看護師/保健師	◎ 山路 真佐子	看護学科教員

担当教員	山路真佐子
科目の目標	健康教育の目的、対象、方法について学び、保健行動の理論に基づき、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学、在宅看護学の知識を用いてそれぞれの看護の知識を統合し、対象とする個人・家族・集団・組織の健康ニーズ・健康課題を把握し、それらに応じた健康教育の計画立案、実施、評価の方法について、ハイリスク集団へのアプローチ、ポピュレーションアプローチの視点を含めて学修する。
学習の具体的な目標	1) 健康教育の目的、対象が説明できる。 2) 健康教育活動に用いる理論・モデルが説明できる。 3) 健康教育の特徴、方法、技術、展開方法が説明できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月15日(火)	時限	4限
	講義室	C302		
	担当者	山路		
	テーマ	健康教育の目的と対象		
	授業内容	1. 健康教育の目的・特性および対象を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月16日(水)	時限	3限
	講義室	C301		
	担当者	山路		
	テーマ	健康教育活動に用いる理論・モデル		
	授業内容	1. 健康教育活動に用いる、保健行動に関する理論を説明できる。 2. 理論・モデルを用いた保健行動について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年04月17日(木)	時限	5限
	講義室	C302		
	担当者	山路		

テーマ	健康教育の方法			
授業内容	1. 健康教育の特徴と方法を説明できる。 2. 健康教育の学習方法を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
4	年月日(曜日)	令和 7年04月18日(金)	時限	5限
	講義室	C302		
	担当者	山路		
	テーマ	健康教育の技術		
	授業内容	1. 教育媒体について説明できる。 2. プレゼンテーションについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年04月21日(月)	時限	3限
	講義室	C401		
	担当者	山路		
	テーマ	健康教育の展開方法①		
	授業内容	1. 健康教育の計画の立案、指導案作成、実施準備について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年04月22日(火)	時限	4限
	講義室	C302		
	担当者	山路		
	テーマ	健康教育の展開方法②		
	授業内容	1. 健康教育の計画の実践・評価について説明できる。 2. 健康教育の事後フォローアップについて説明できる。 3. 多職種との連携・協働について説明できる。 4. 地区活動への反映について説明できる。 5. 健康教育の実際について、事例に基づき説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年04月23日(水)	時限	3限
	講義室	C301		
	担当者	山路		
	テーマ	健康教育の展開方法③		
	授業内容	1. ポピュレーションアプローチ、ハイリスクアプローチについて説明できる。 2. 健康教育の実際について、事例に基づき説明できる。 3. 地域(事例)の状況を把握し、その地域で必要な健康教育を考えることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年04月30日(水)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	山路		
	テーマ	健康教育の展開方法④		
	授業内容	1. 地域(事例)の状況を把握し、その地域で必要な健康教育を考えることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法	欠席等の出席状況・授業態度及び課題(10%)、定期試験(90%)を総合的に判断して評価する。 授業開始45分以降の遅刻は欠席とする。 評価が不合格の場合、再試験を1回行う。 *詳細は、第1回授業の際に説明する。			
教科書	1. 標準保健師講座2 公衆衛生看護技術 第5版、中村裕美子他著、医学書院. 2023.			
参考書	1. 保健学講座2 公衆衛生看護支援技術、岸恵美子・平野かよ子・村嶋幸代編、メヂカルフレンド社. 2022. 2. 標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動第5版、中谷芳美他、医学書院. 2024. 3. 新版保健師業務要覧第4版 2025年版、井伊久美子他編、日本看護協会出版会. 2025. 4. 公衆衛生看護学jp第6版、鳩野洋子・神庭純子編、インターメディカル. 2024. 5. 公衆衛生看護学第4版、上野昌江他編、中央法規. 2025.			
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 月・火曜日16時30分～17時30分 上記以外はメールにてアポイントメントをとること。 E-mail: yamaji@saitama-med.ac.jp			

履修上の注意、履修要件

授業前日には教科書の該当ページを予習し、放課後には学習内容の復習を行い、学習内容の理解を深めることに心掛けること。

課題は提出期限を守ること。

- ・健康教育論Ⅰを履修していないと、健康教育論Ⅱは履修できません。
- ・保健師活動の基本となる知識と技術です。4年次開講の公衆衛生看護学実習の履修要件となるので、単位がとれない場合は実習を履修できません。

講義名	健康教育論Ⅱ		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（ケアの質向上のための看護学）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	1	時間	30.00
代表曜日	水曜日	代表時限	3限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/30時間		
必修・選択	看：選択／保：必修		
配当年次	3年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
看護師/保健師	◎ 山路 真佐子	看護学科教員

担当教員	山路真佐子・野田 万里・内田 久子
科目の目標	保健行動の理論に基づき、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学、在宅看護学の知識を用いてそれぞれの看護の知識を統合し、対象とする個人・家族・集団・組織の健康ニーズ・健康課題を把握し、それらに応じた健康教育の計画立案、実施、評価の方法について、学内演習および地域住民対象の健康教育を実際に実施することを通して、具体的体験的に学修する。
学習の具体的な目標	1) 地域住民のニーズに応じた健康教育の計画書(企画書)、指導案を作成することができる。 2) 健康教育の目的、目標にあった教育媒体を作成し、健康教育の発表ができる。 3) 健康教育の評価ができる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年05月02日(金)	時限	5限
	講義室	C301		
	担当者	山路・野田・内田		
	テーマ	健康教育の計画立案(1) 演習のオリエンテーション、地域住民のニーズの明確化、地域住民のニーズに応じたテーマの決定、健康教育計画書(企画書)の作成①		
	授業内容	1. 健康教育演習の目的、演習の進め方、演習スケジュールを説明できる。 2. モデル地域の住民のニーズを明確にできる。 3. 地域住民のニーズに応じた健康教育のテーマを決めることができる。 4. 健康教育の計画書(企画書)に必要な項目を説明できる。 5. 健康教育の計画書を作成できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年05月07日(水)	時限	3限
	講義室	C301		
	担当者	山路・野田・内田		
	テーマ	健康教育の計画立案(2) 健康教育計画書(企画書)の作成②		
	授業内容	1. 健康教育の計画書(企画書)を作成できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年05月07日(水)	時限	4限

講義室	C301			
担当者	山路・野田・内田			
テーマ	健康教育の計画立案(3) 健康教育計画書(企画書)の作成③			
授業内容	1. 健康教育の計画書(企画書)を作成し、必要に応じて修正できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
4	年月日(曜日)	令和 7年05月13日(火)	時限	3限
	講義室	C302		
	担当者	山路・野田・内田		
	テーマ	健康教育の計画立案(4) 健康教育計画書(企画書)の作成④		
	授業内容	1. 健康教育の計画書(企画書)を修正し、提出できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年05月13日(火)	時限	4限
	講義室	C302		
	担当者	山路・野田・内田		
	テーマ	健康教育の計画立案(5) 指導案の作成①		
	授業内容	1. 健康教育の指導案に必要な項目を説明できる。 2. 健康教育の計画書(企画書)に基づき、指導案を作成できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年05月19日(月)	時限	3限
	講義室	C401		
	担当者	山路・野田・内田		
	テーマ	健康教育の計画立案(6) 指導案の作成②		
	授業内容	1. 健康教育の指導案を作成できる。 2. 健康教育の指導案を作成し、必要に応じて修正できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年05月20日(火)	時限	3限
	講義室	C302		
	担当者	山路・野田・内田		
	テーマ	健康教育の計画立案(7) 指導案の作成③		
	授業内容	1. 健康教育の指導案を修正し、提出できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年05月21日(水)	時限	3限
	講義室	C301		
	担当者	山路・野田・内田		
	テーマ	健康教育の媒体作成(1)		
	授業内容	1. 健康教育の媒体作成の要点を説明できる。 2. 健康教育の指導案に基づき、媒体を作成できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年05月27日(火)	時限	4限
	講義室	C302		
	担当者	山路・野田・内田		
	テーマ	健康教育の媒体作成(2)		
	授業内容	1. 健康教育の指導案に基づき、媒体を作成し、必要に応じて修正できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年05月28日(水)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	山路・野田・内田		
	テーマ	健康教育の媒体作成(3) 発表原稿作成		
	授業内容	1. 健康教育の指導案に基づき、媒体を作成できる。 2. 発表原稿作成の要点を説明できる。 3. 健康教育の指導案に基づき、発表原稿を作成できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		

11	年月日(曜日)	令和 7年06月10日(火)	時限	3限
	講義室	C302・B101		
	担当者	山路・野田・内田		
	テーマ	地域における実践(1) 健康まつりオリエンテーション、概要の理解 健康教育の実技練習 発表練習		
	授業内容	1. 健康まつりの開催目的、概要を説明できる。 2. 教育媒体を活用しての発表の練習ができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年06月15日(日)	時限	1限
	講義室	学外		
	担当者	山路・野田・内田		
	テーマ	地域における実践(2) 健康まつり参加		
	授業内容	1. 健康まつりに参加し、地域における健康教育の実際を体験し、健康教育における保健師の役割を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年06月15日(日)	時限	2限
	講義室	学外		
	担当者	山路・野田・内田		
	テーマ	地域における実践(3) 健康まつり参加		
	授業内容	1. 健康まつりに参加し、地域における健康教育の実際を体験し、健康教育における保健師の役割を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年06月18日(水)	時限	3限
	講義室	C301		
	担当者	山路・野田・内田		
	テーマ	地域における実践(4) 健康まつりの振り返り 健康教育の発表(1) 健康教育の発表①		
	授業内容	1. 地域看護活動の目的を果たすための健康教育における保健師の役割を説明できる。 2. 健康教育の発表ができる。 3. 健康教育の評価ができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 7年06月18日(水)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	山路・野田・内田		
	テーマ	健康教育の発表(2) 健康教育の発表②、評価		
	授業内容	1. 健康教育の発表ができる。 2. 健康教育の評価ができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		

評価方法	遅刻欠席等の出席状況・授業参加態度・課題及びレポート(40%)、定期試験(60%)を総合的に判断して評価する。 授業開始45分以降の遅刻は欠席とする。 評価が不合格の場合、再試験を1回行う。 *詳細は、授業の際に説明する。
教科書	1. 標準保健師講座2 公衆衛生看護技術 第5版、中村裕美子他著、医学書院.
参考書	1. 保健学講座2 公衆衛生看護支援技術、岸恵美子・平野かよ子・村嶋幸代編、メヂカルフレンド社。 2. 新版保健師業務要覧第4版、井伊久美子他編、日本看護協会出版会。 3. 公衆衛生看護学jp第6版、鳩野洋子・神庭純子編、インターメディカル。 4. 公衆衛生看護学第3版、上野昌江他編、中央法規。 5. コミュニティアズパートナー 地域看護学の理論と実際 第2版、金川克子・早川和生監訳、医学書院。 6. 国民衛生の動向2024/2025、厚生労働統計協会編、厚生労働統計協会。  ○ その他の参考書：授業で紹介する。
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【山路】 火曜日 16時30分～17時30分  上記以外はメールにてアポイントメントをとること。 E-mail: yamaji@saitama-med.ac.jp

履修上の注意、履修要件	<p>健康教育論Ⅰで学習した内容を復習すること。 授業前日には演習の該当部分を予習し、教科書で演習内容の意味を理解しておくこと。また、演習後にはレポート作成のための文献検索や教科書での確認を怠らないこと。課題、レポートは指示された期日までに提出してください。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・健康教育論Ⅰを履修していないと、健康教育論Ⅱは履修できません。</li><li>・保健師活動の基本となる知識と技術です。4年次開講の公衆衛生看護学実習の履修要件となるので、単位がとれない場合は実習を履修できません。</li><li>・小グループでの演習の授業です。履修を決めたら、最後まで授業に出席してください。</li></ul>
-------------	---

講義名	成人看護学実習 I		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（臨地実習）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	後期	講義区分	実習
基準単位数	3	時間	135.00
代表曜日		代表時限	
校地	日高キャンパス		
単位数	3単位/135時間		
必修・選択	必修		
配当年次	3年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
看護師	◎ 本谷 久美子	看護学科教員

担当教員	本谷久美子・櫻庭 奈美・青木 君恵・村田 美穂・梶原 貴宏・工藤 岳夫・粟生田友子
科目の目標	看護過程を用いて対象者の発達段階、健康レベル、健康障害を理解し、看護上の課題を特定して根拠のある看護実践を行うことを学ぶ。
学習の具体的な目標	<p>慢性的・長期的に経過する健康障害の特性を理解し、人の生活の多様性を知り、その人の生活の質の維持・向上に向けた看護を実践する。また、医療の場においてチームとして、対象を支える意味を理解するとともに、倫理的に適切な行動がとれるよう研鑽する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 対象の発達段階や生活の特徴、社会的背景、治療への価値・信念、現在までの疾病経過が、現在の病態や日常生活におよぼした影響を理解し、対象に必要な看護上の課題が抽出できる。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 対象の健康状態について、発達段階による影響を説明できる。</li> <li>2) 対象の健康状態について、生活の特徴による影響を説明できる。</li> <li>3) 疾病の成り立ちや治療の過程を踏まえて現在の病態を説明できる。</li> <li>4) 現在の病態が、日常生活におよぼす影響について説明できる。</li> <li>5) 健康に関するその人の価値観や信念が健康回復に与える影響について説明できる。</li> <li>6) 対象に必要な治療について、慢性的・長期的な経過を見据えて説明できる。</li> <li>7) 対象の全体像を理解し、看護の必要性が説明できる。</li> </ol> </li> <li>2. 対象が、必要な社会資源を活用しながら、より健康的に生活するための看護援助を実施できる。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 入院中の対象の健康上のニーズを抽出し、治療や入院生活に必要な生活援助を実施できる。</li> <li>2) 対象の心身の苦痛に配慮し、その軽減に向けた援助が実施できる。</li> <li>3) 社会資源を活用しながら、治療や療養の理解、回復への意思を確認し、主体的な治療を継続できるよう援助できる。</li> <li>4) 対象の退院後の生活を見据え、対象の健康をよりよく維持できるための方法を列挙し、対象に合わせて相談、指導、助言ができる。</li> <li>5) 実施した援助を評価し、優先順位や看護計画の変更・修正ができる。</li> </ol> </li> <li>3. 保健医療チームにおける多職種の連携と看護師の役割について理解し、行動できる。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 保健医療チームにおける看護師の役割を説明できる。</li> <li>2) 保健医療チームにおける連携の必要性とそれぞれの職種の役割を説明できる。</li> <li>3) 学生自身が保健医療チームの一員としての自覚をもち、行動できる。</li> </ol> </li> <li>4. 看護学生として適切な態度や行動がとれる。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 対象を尊重し、倫理観に基づいた行動がとれる。</li> <li>2) 実習やカンファレンスに積極的に参加できる。</li> <li>3) 学生グループ間において協調性のある行動がとれる。</li> <li>4) 適切に報告・連絡・相談ができる。</li> </ol> </li> </ol>
授業計画表	
実習期間	2025年10月～2026年1月の領域別看護学実習期間のうち3週間
実習場所	埼玉医科大学国際医療センター
評価方法	1. 事前学習内容、実習状況、実習態度、記録物から総合的に評価する。

教科書	1. 成人看護学概論、成人看護学方法論Ⅰ～Ⅳで使用了教科書、参考書、講義資料 2. 図書館にある関連文献
参考書	実習中に随時提示する。
連絡先/オフィスアワー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。</li> <li>【本谷】C620研究室で実習前および12:10～13:00 16:30～17:30の間で受け付ける。</li> <li>メールアドレス : kmotoya@saitama-med.ac.jp</li> <li>・その他、直接指導を受ける担当教員の研究室でも対応する。</li> </ul>
履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々実習後は実習記録を進めてください。</li> <li>・指定された予防接種をおこない、抗体検査およびワクチン接種自己申告書、および実習誓約書を実習病院へ提出します。</li> <li>・成人看護学概論、成人看護学方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳの単位を修得していないと履修できません。</li> <li>・実習に必要な看護技術を自己練習しておいてください。</li> <li>・実習中の疑問などは速やかに解決するよう努力してください。</li> <li>・健康管理には十分に留意してください。</li> </ul>

講義名	成人看護学実習Ⅱ		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（臨地実習）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	後期	講義区分	実習
基準単位数	2	時間	90.00
代表曜日		代表時限	
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/90時間		
必修・選択	必修		
配当年次	3年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
看護師	◎ 本谷 久美子	看護学科教員

担当教員	本谷久美子・櫻庭 奈美・青木 君恵・村田 美穂・梶原 貴宏・工藤 岳夫・粟生田友子
科目の目標	発達段階、健康レベル、健康障害から導き出された日常生活への影響などを多面的に理解し、看護過程を基盤に臨床判断モデルを取り入れて看護を展開する。さらに、対象者の回復を促進し、生活を調整・再構築するための看護実践を行うことを学ぶ。
学習の具体的な目標	<p>急性期・周手術期にある人の身体侵襲の予測と重篤化の回避、生体機能の回復、苦痛の緩和、社会生活への適応に向けた看護を実践する。また、チームとして患者を支える意味を理解するとともに、倫理的に適切な行動がとれるように研鑽する。</p> <p>1. 対象の急性期・周手術期における身体侵襲と生体反応の回復過程、術後合併症について理解し、看護上の課題が抽出できる。</p> <p>1) 急性期・周手術期における治療が生体におよぼす影響について説明できる。</p> <p>2) 既往症や生活習慣が回復過程におよぼす影響について説明できる。</p> <p>3) 対象に生じる可能性のある合併症を予測し、説明できる。</p> <p>4) 治療や手術による形態的变化・機能障害について説明できる。</p> <p>5) 疾患や治療に対する対象の受け止め方を説明できる。</p> <p>6) 対象の全体像を理解し、看護の必要性を説明できる。</p> <p>2. 治療や手術による心身への影響を理解し、回復を促すために、看護計画の立案、看護援助が実施できる。</p> <p>1) 治療や手術を受けるために必要な心身の準備について説明できる。</p> <p>2) 治療や手術を安全かつ安楽な状態で受けられるように環境を調整できる。</p> <p>3) 治療や手術を受ける対象の全身状態の観察ができる。</p> <p>4) 治療や手術による合併症の予防に向けた援助が実施できる。</p> <p>5) 対象の心身の苦痛に配慮し、その軽減に向けた援助が実施できる。</p> <p>6) 退院後の生活を見据え、機能障害の回復に向けた援助が実施できる。</p> <p>7) 実施した援助を評価し、優先順位や看護計画の変更・修正ができる。</p> <p>3. 保健医療チームにおける多職種の連携と看護師の役割について理解し、行動できる。</p> <p>1) 保健医療チームにおける看護師の役割を説明できる。</p> <p>2) 保健医療チームにおける連携の必要性とそれぞれの職種の役割を説明できる。</p> <p>3) 学生自身が保健医療チームの一員としての自覚をもち、行動できる。</p> <p>4. 看護学生として適切な態度や行動がとれる。</p> <p>1) 対象を尊重し、倫理観に基づいた行動がとれる。</p> <p>2) 実習やカンファレンスに積極的に参加できる。</p> <p>3) 学生グループ間において協調性のある行動がとれる。</p> <p>4) 適切に報告・連絡・相談ができる。</p>
授業計画表	
実習期間	2025年10月～2026年1月の領域別看護学実習期間のうち2週間
実習場所	埼玉医科大学国際医療センター
評価方法	1. 事前学習内容、実習状況、実習態度、記録物から総合的に評価する。

教科書	1. 成人看護学概論、成人看護学方法論Ⅰ～Ⅳで使用した教科書、参考書、講義資料 2. 図書館にある関連文献
参考書	実習中に随時提示する。
連絡先/オフィスアワー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。</li> <li>【本谷】C620研究室で実習前、12:10～13:00、16:30～17:30の間で受け付ける。</li> <li>メールアドレス：kmotoya@saitama-med.ac.jp</li> <li>・その他、直接指導を受ける担当教員の研究室でも対応する。</li> </ul>
履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々実習後は実習記録を進めてください。</li> <li>・指定された予防接種をおこない、抗体検査およびワクチン接種自己申告書、および実習誓約書を実習病院へ提出します。</li> <li>・成人看護学概論、成人看護学方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳの単位を修得していないと履修できません。</li> <li>・実習に必要な看護技術を自己練習しておいてください。</li> <li>・実習中の疑問などは速やかに解決するよう努力してください。</li> <li>・健康管理には十分に留意してください。</li> </ul>

講義名	老年看護学実習Ⅱ		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（臨地実習）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	後期	講義区分	実習
基準単位数	3	時間	135.00
代表曜日		代表時限	
校地	日高キャンパス		
単位数	3単位/135時間		
必修・選択	必修		
配当年次	3年後期～4年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
看護師	◎ 丸井 明美	看護学科教員

担当教員	丸井 明美・鳥谷めぐみ・高橋裕里子
科目の目標	高齢者の健康障害の特性を理解し、主に認知症を有する高齢者への看護実践能力を養い、高齢者ケアについて考察を深める。
学習の具体的な目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高齢者の健康状態や日常生活を包括的にアセスメントし、高齢者の望む生活を説明できる。</li> <li>2. 高齢者の望む生活を送るために必要な看護を、根拠に基づき説明し計画を立案できる。</li> <li>3. 高齢者の反応を見ながら、安全、安楽、自立を考慮し看護を実践できる。</li> <li>4. 実践した看護計画を評価し、修正できる。</li> <li>5. 高齢者の生活史・生活信条・価値観などに配慮し、個別性をふまえた看護を説明できる。</li> <li>6. 高齢者の権利擁護や意思決定、高齢者の倫理的課題について説明できる。</li> <li>7. 高齢者の望む生活を送るために必要な多職種連携や社会資源を説明できる。</li> <li>8. 高齢者の健康障害が家族に及ぼす影響や家族に対する看護を説明できる。</li> <li>9. 実習を通して自己の関わりを振り返り、高齢者看護の役割を創造的に考察し、高齢者看護について説明できる。</li> </ol>
授業計画表	
<p>詳細は別途配付する「実習要項」を参照。 ・実習期間：令和7年10月～令和8年7月までの領域別実習期間中のうち3週間 ・実習場所：埼玉県内の医療施設および高齢者施設。</p>	
評価方法	評価は、評価表に基づき実習内容、実習記録、カンファレンスや実習報告会の参加状況、面接から総合的に評価する。
教科書	講義・演習資料
参考書	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生活機能からみた老年看護過程 第4版、山田律子他編、医学書院</li> <li>2. カラー写真で学ぶ 高齢者の看護技術 第2版 大塚真理子編、医歯薬出版株式会社</li> <li>3. 認知症plusコミュニケーション、大庭輝他著、日本看護協会出版会</li> </ol>
連絡先/オフィスアワー	<p>実習および課題等に対する質問・フィードバックなどはその都度してください。  実習外での質問などがある場合は、事前にメール等でアポイントメントを取ってください。  mail ; marui@saitama-med. ac. jp, toriya@saitama-med. ac. jp</p>
履修上の注意、履修要件	<p>【履修上の注意】  実習要項を熟読し、事前課題を見直し必要な学修をしておいてください。また実習施設の特徴、交通手段について確認しておいてください。  お知らせ、変更、連絡などは「webclass」を使用するので、毎日確認し連絡内容に「気づかなかった」ということが無いようにしてください。</p>

**【履修要件】**

老年看護学実習Ⅰ、老年看護学概論、老年看護学活動論の単位を修得していること。  
(予習時間30分、復習時間30分)

講義名	小児看護学実習		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（臨地実習）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	後期	講義区分	実習
基準単位数	2	時間	90.00
代表曜日		代表時限	
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/90時間		
必修・選択	必修		
配当年次	3年後期～4年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
看護師	◎ 川合 美奈	看護学科教員

担当教員	川合 美奈・齋藤美奈子・高橋 梢・土師しのぶ
科目の目標	子どもの成長・発達過程の特性を理解し、あらゆる成長・発達、健康レベルにある子どもとその家族に適切な看護を実践する基礎的能力を習得する。
学習の具体的な目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 子どもの成長・発達過程と子どもを取り巻く環境の実際を理解することができる。</li> <li>2) 子どもの人権の尊重や安全に努めることができる。</li> <li>3) 健康障害のある子どもとその家族に目を向け、看護過程の展開を通じて、問題解決のプロセスを理解することができる。</li> <li>4) 子どもに関わる多職種の役割と連携、チームの中における看護師の役割を理解することができる。</li> <li>5) 主体的に学習に取り組み、自己の課題を明らかにし、実習学生としての責任と役割を果たすことができる。</li> </ol>
授業計画表	
<p>詳細は別途配布する「実習要項」による。実習期間は2025年10月～2026年1月のうちの10日間となる。実習場所は日高市内保育所、医療型重症心身障害児入所施設カルガモの家、埼玉医科大学国際医療センターの小児を対象とする病棟にて実施する。</p>	
評価方法	小児看護学実習評価表の項目に基づき評価を行う。
教科書	小児看護学概論および活動論で使用した教科書、参考書、配布資料
参考書	実習施設ごとに、別途提示する。
連絡先/オフィスアワー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習に関する質問は、メールまたは実習学内日に対応する。</li> <li>【川合】C614研究室 E-mail: kawaim@saitama-med.ac.jp</li> <li>・その他、実習担当教員が対応する。</li> </ul>
履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習前には、必ず実習要項にて実習目的・目標および実習内容を再確認すること。</li> <li>・実習中に行う基礎的な看護技術については、復習すること。</li> <li>・実習オリエンテーションで指定する事前学習は、必ず実施すること。</li> <li>・病棟、重症心身障害児施設、保育所などで実習を行うので、体調管理に留意すること。</li> </ul> <p>履修要件：小児看護学概論、小児看護学活動論の単位を修得していること。 （予習時間30分、復習時間30分）</p>

講義名	母性看護学実習		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（臨地実習）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	後期	講義区分	実習
基準単位数	2	時間	90.00
代表曜日		代表時限	
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/90時間		
必修・選択	必修		
配当年次	3年後期～4年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
助産師	◎ 大森 智美	看護学科教員

担当教員	大森 智美・藤村 博恵・松坂 充子・上西 由美
科目の目標	母性看護学概論及び母性看護学活動論の学習をもとに、母性看護の実践されている場に臨み、妊娠・分娩・産褥期の女性と新生児を中心に、子どもを産み育てる女性の健康と女性を支える家族や社会について実践的に理解する。特に、母親役割獲得過程における女性と新生児への具体的援助技術を学び、母性看護の特性を明らかにする。
学習の具体的な目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 妊娠・分娩・産褥経過を体験的に理解し、説明できる。</li> <li>2. 妊産褥婦および新生児の看護を展開することができる。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 妊娠・分娩・産褥に伴う妊産褥婦の心身の変化を理解し、情報収集とアセスメントができる。</li> <li>2) 新生児の母体外生活適応過程を理解し、情報収集とアセスメントができる。</li> <li>3) 母と児について社会心理学的背景を理解し、家族関係に注目した情報収集とアセスメントができる。</li> <li>4) 優先順位を考慮して看護目標を立てることができる。</li> <li>5) 看護目標達成のための具体策を立案することができる。</li> <li>6) 計画した具体策を母児の状態や反応を確かめながら実施することができる。</li> <li>7) 実施した看護を評価し、必要に応じて修正をすることができる。</li> </ol> </li> <li>3. 周産期医療の現状と、母と児に対する福祉および保健対策の実際を知り、考察することができる。</li> <li>4. 母性看護の特性について体験的に明らかにし、述べることができる。</li> <li>5. 母性看護の実践を通して自己の母性観・父性観を明確にし、述べることができる。</li> </ol>
授業計画表	
実習内容の詳細については、実習要項に記載してあるので、そちらを参考にしてください。	
評価方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護実践に求められる知識・技術・態度の3つの要素及びその統合能力をもって評価する。</li> <li>2. 評価項目は別に定め、実習要項に記載する。</li> <li>3. 評価は、自己評価をもとに教員と話し合い、最終的に教員が評価する。</li> </ol>
教科書	講義・演習で使用した教科書、配布資料
参考書	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ウェルネスからみた母性看護過程＋病態関連図 第4版、佐世正勝他編、医学書院、2021</li> <li>2. 病気がみえる vol.10 産科 第4版、医療情報科学研究所編、メディックメディア、2018</li> </ol> <p>その他、適宜、実習状況にあわせて紹介する。</p>
連絡先/オフィスアワー	<p>授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。</p> <p>【大森】 月曜日・金曜日の3・4限 上記時間帯に訪問することが難しい場合は、メールにてアポイントメントをとること。 E-mail: t_oomr@saitama-med.ac.jp</p>

履修上の注意、履修要件

母性看護学概論、母性看護学活動論の単位を修得していること。  
母性看護学実習は、妊娠、分娩について学べる貴重なチャンスです。健康管理に努め欠席しないようにしましょう。  
母性看護学活動論が終了してから実習までにかなり時間があります。事前学習をしっかりと行って臨んでください。また、実習中の疑問などは速やかに解決するよう努力してください。  
(予習時間30分、復習時間30分)

講義名	精神看護学実習		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（臨地実習）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	後期	講義区分	実習
基準単位数	2	時間	90.00
代表曜日		代表時限	
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/90時間		
必修・選択	必修		
配当年次	3年後期～4年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
看護師/養護教諭	◎ 大賀 淳子	看護学科教員

担当教員	大賀 淳子・大澤 優子・大木田亜衣・長澤 千尋
科目の目標	精神障害者および精神的問題を持つ対象を理解し、適切な看護実践ができる基礎的能力を習得する。
学習の具体的な目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>患者－学生関係を通して対人関係を理解し、関係を築くことができる。 <ol style="list-style-type: none"> <li>対象と関係を築く過程を説明できる。</li> <li>対象の精神症状に応じたコミュニケーションをとることができる。</li> <li>自己の言動が対象に及ぼす影響を予測して関わるることができる。</li> <li>自己のコミュニケーションの傾向と特徴を知ることができる。</li> <li>治療的な態度を保ちながら対象と接することができる。</li> </ol> </li> <li>入院患者を受け持ち、看護過程を通して個別的な看護が実践できる。 <ol style="list-style-type: none"> <li>必要な情報収集ができる。</li> <li>患者の全体像を把握できる。</li> <li>患者のセルフケア能力のアセスメントができる。</li> <li>個別的な看護問題を抽出し、優先順位をつけることができる。</li> <li>対象が受けている治療の必要性を説明できる。</li> </ol> </li> <li>地域で生活する精神障害者と活動を共にし、看護の役割を説明できる。 <ol style="list-style-type: none"> <li>通所施設の概要・役割を説明できる。</li> <li>通院、通所している対象の社会的背景を説明できる。</li> </ol> </li> <li>精神科における治療の特殊性を理解し、看護の役割を説明できる。 <ol style="list-style-type: none"> <li>精神症状に対する治療の実際を説明できる。</li> <li>薬物療法における看護の役割を説明できる。</li> <li>精神保健福祉法に定められた入院形態、行動制限、処遇について説明できる。</li> <li>施設の安全管理の特殊性を説明できる。</li> </ol> </li> <li>精神医療・保健・福祉の連携に果たす看護職の役割について説明できる。 <ol style="list-style-type: none"> <li>多職種の活動内容の概要を説明できる。</li> <li>チームメンバーとしての役割と連携を理解し、看護職の役割を説明できる。</li> </ol> </li> </ol>
授業計画表	
実習要領に示します。	
評価方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>評価項目は、実習要項の「評価表」に示すとおりである。</li> <li>学生は、実習終了後に「評価表」に自己評価結果を記入して教員へ提出する。</li> <li>教員は学生の自己評価結果を参考にして、最終的な評価を行う。</li> </ol>

教科書	講義・演習で使用した教科書および配布資料
参考書	DSM-5 精神疾患の分類と診断の手引、米国精神医学会、医学書院
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【大賀】 月・水曜日の3・4限 上記時間帯に訪問できない場合は、事前にメールでアポイントメントをとること。 E-mail : ogaju@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	履修要件：精神看護学概論、精神看護学活動論の単位を修得していること。 実習前には、特に統合失調症、気分障害についての復習を充分に行うこと。 精神看護学実習は、患者-看護者関係について深く学ぶ機会となります。自分の長所や短所、今後の課題を明確にして、他の領域の実習に活かしてください。 (予習時間30分、復習時間30分)